

近畿厚生局長 殿

京都府公立大学法人
理事長 荒巻 禎一



京都府立医科大学附属病院の業務に関する報告について

標記について、医療法(昭和23年法律第205号)第12条の3の規定に基づき、平成24年度の業務に関して報告します。

記

- 1 高度の医療の提供の実績 → 別紙参照(様式第10)
- 2 高度の医療技術の開発及び評価の実績 → 別紙参照(様式第11)
- 3 高度の医療に関する研修の実績

研修医の人数	215人
--------	------

(注) 前年度の研修医の実数を記入すること。

- 4 診療並びに病院の管理及び運営に関する諸記録の体系的な管理方法
→ 別紙参照(様式第12)
- 5 診療並びに病院の管理及び運営に関する諸記録の閲覧方法及び閲覧の実績
- 6 他の病院又は診療所から紹介された患者に対する医療提供の実績
→ 別紙参照(様式第13)

7 医師、歯科医師、薬剤師、看護師及び准看護師、管理栄養士その他の従業者の員数

職種	常勤	非常勤	合計	職種	員数	職種	員数
医師	229人	298人	527.0人	看護補助者	32人	診療エックス線技師	0人
歯科医師	5人	21人	26.0人	理学療法士	13人	臨床検査技師	54人
薬剤師	38人	11人	38.6人	作業療法士	6人	臨床衛生検査技師	0人
保健師	0人	0人	人	視能訓練士	10人	その他	0人
助産師	0人	0人	人	義肢装具士	0人	あん摩マッサージ指圧	0人
看護師	720人	50人	751.4人	臨床工学技士	11人	医療社会事業従事者	1人
准看護師	1人	2人	2.4人	栄養士	4人	その他の技術員	5人
歯科衛生士	4人	2人	4.8人	歯科技工士	2人	事務職員	92人
管理栄養士	8人	5人	8.8人	診療放射線技師	39人	その他の職員	32人

- (注) 1 報告を行う当該年度の10月1日現在の員数を記入すること。
- 2 栄養士の員数には、管理栄養士の員数は含めないで記入すること。
- 3 「合計」欄には、非常勤の者を当該病院の常勤の従事者の通常の勤務時間により常勤換算した員数と常勤の者の員数の合計を小数点以下2位を切り捨て、小数点以下1位まで算出して記入すること。それ以外の欄には、それぞれの員数の単純合計員数を記入すること。

8 入院患者、外来患者及び調剤の数

歯科、矯正歯科及び小児歯科の入院患者及び外来患者の数

	歯科等以外	歯科等	合計
1日当たり平均入院患者数	654.9人	2.5人	657.4人
1日当たり平均外来患者数	1,901.0人	150.4人	2,051.4人
1日当たり平均調剤数	入院; 2400.59剤、 外来231.65剤		

- (注) 1 「歯科等」欄には、歯科、矯正歯科、小児歯科及び口腔外科を受診した患者数を、「歯科等以外」欄にはそれ以外の診療科を受診した患者数を記入すること。
- 2 入院患者数は、年間の各科別の入院患者数延数(毎日の24時現在の在院患者数の合計)を暦日で除した数を記入すること。
- 3 外来患者数は、年間の各科別の外来患者延数をそれぞれ病院の年間の実外来診療日数で除した数を記入すること。
- 4 調剤数は、年間の入院及び外来別の調剤延数をそれぞれ暦日及び実外来診療日数で除した数を記入すること。

(様式第10)

高度の医療の提供の実績

3 その他の高度の医療

医療技術名		取扱患者数	人
当該医療技術の概要			
医療技術名		取扱患者数	人
当該医療技術の概要			
医療技術名		取扱患者数	人
当該医療技術の概要			
医療技術名		取扱患者数	人
当該医療技術の概要			
医療技術名		取扱患者数	人
当該医療技術の概要			
医療技術名		取扱患者数	人
当該医療技術の概要			
医療技術名		取扱患者数	人
当該医療技術の概要			
医療技術名		取扱患者数	人
当該医療技術の概要			
医療技術名		取扱患者数	人
当該医療技術の概要			

(注) 当該医療機関において高度の医療と判断するものが他にあれば、前年度の実績を記入すること。

高度の医療の提供の実績

4 特定疾患治療研究事業対象疾患についての診療

疾患名	取扱患者数	疾患名	取扱患者数
・ベーチェット病	157人	・膿疱性乾癬	16人
・多発性硬化症	76人	・広範脊柱管狭窄症	6人
・重症筋無力症	171人	・原発性胆汁性肝硬変	213人
・全身性エリテマトーデス	670人	・重症急性膵炎	21人
・スモン	2人	・特発性大腿骨頭壊死症	291人
・再生不良性貧血	87人	・混合性結合組織病	121人
・サルコイドーシス	298人	・原発性免疫不全症候群	12人
・筋萎縮性側索硬化症	28人	・特発性間質性肺炎	41人
・強皮症, 皮膚筋炎及び多発性筋炎	244人	・網膜色素変性症	106人
・特発性血小板減少性紫斑病	153人	・プリオン病	1人
・結節性動脈周囲炎	76人	・肺動脈性肺高血圧症	142人
・潰瘍性大腸炎	316人	・神経線維腫症	84人
・大動脈炎症候群	34人	・亜急性硬化性全脳炎	0人
・ビュルガー病	187人	・バッド・キアリ(Budd-Chiari)症候群	4人
・天疱瘡	47人	・慢性血栓性肺高血圧症	10人
・脊髄小脳変性症	72人	・ライソゾーム病	29人
・クローン病	90人	・副腎白質ジストロフィー	3人
・難治性の肝炎のうち劇症肝炎	6人	・家族性高コレステロール血症(ホモ接合体)	0人
・悪性関節リウマチ	34人	・脊髄性筋委縮症	3人
・パーキンソン病関連疾患(進行性核上性麻痺、大脳皮質基底核変性症及びパーキンソン病)	349人	・球脊髄性筋委縮症	0人
・アミロイドーシス	74人	・慢性炎症性脱髄性多発神経炎	27人
・後縦靭帯骨化症	165人	・肥大型心筋症	181人
・ハンチントン病	3人	・拘束型心筋症	1人
・モヤモヤ病(ウィリス動脈輪閉塞症)	45人	・ミトコンドリア病	11人
・ウェゲナー肉芽腫症	39人	・リンパ脈管筋腫症(LAM)	2人
・特発性拡張型(うっ血型)心筋症	132人	・重症多形滲出性紅斑(急性期)	2人
・多系統萎縮症(線条体黒質変性症、オリブ橋小脳萎縮症及びシャイ・ドレーガー症候群)	18人	・黄色靭帯骨化症	43人
・表皮水疱症(接合部型及び栄養障害型)	1人	・間脳下垂体機能障害 (PRL分泌異常症、ゴナドトロピン分泌異常症、ADH分泌異常症、下垂体性TSH分泌異常症、クッシング病、先端巨大症、下垂体機能低下症)	270人
	28		3,574人

(注) 「取扱患者数」欄には、前年度の年間実患者数を記入すること。

1,640人

5,214人

(様式第10)

高度の医療の提供の実績

5 健康保険法の規定による療養に要する費用の額の算定方法に先進医療から採り入れられた医療技術

施設基準等の種類	施設基準等の種類
・ 胎児心超音波検査	・
・ 悪性黒色腫又は乳がんにおけるセンチネルリンパ節の同定と転移の検索	・
・ 膀胱尿管逆流症及び巨大尿管症に対する腹腔鏡下膀胱内手術	・
・ 内視鏡的大腸粘膜下層剥離術	・
・ 先天性難聴の遺伝子診断	・
・	・
・	・
・	・
・	・
・	・
・	・
・	・
・	・
・	・
・	・
・	・
・	・

(注)「施設基準等の種類」欄には、業務報告を行う3年前の4月以降に、健康保険法の規定による療養に要する費用の額の算定方法(平成六年厚生省告示第五十四号)に先進医療(当該病院において提供していたものに限る。)から採り入れられた医療技術について記入すること。

6 病理・臨床検査部門の概要

臨床検査及び病理診断を実施する部門の状況	① 臨床検査部門と病理診断部門は別々である。 2. 臨床検査部門と病理診断部門は同一部門にまとめられている。
臨床部門が病理診断部門或いは臨床検査部門と開催した症例検討会の開催頻度	1箇月に12回程度開催
剖 検 の 状 況	剖検症例数 31 例 / 剖検率 13.50%

高度の医療技術の開発及び評価を行う能力を有することを証する書類

1 研究費補助等の実績

研 究 課 題 名	研究者氏名	所属部門	金 額	補助元又は委託元
大脳・延髄ネットワークをターゲットとした新規嚥下障害治療法の開発	山脇 正永	総合診療部	1,820,000	補○ 日本学術振興会 委
新規視床下部神経核 SGN の摂食・エネルギー代謝調節メカニズムへの関与の解明	森 浩子	総合診療部	1,430,000	補○ 日本学術振興会 委
地理情報システム(GIS)を用いた在宅医療における有床診療所の役割に関する研究	山脇 正永	総合診療部	2,960,000	補○ 厚生労働省 委
無意識生体計測&検査によるヘルスケアシステムの開発	中西 守	消化器内科	14,751,181	補○ 文部科学省 委
メチルグリオキザール修飾 Hsp27 蛋白質の同定と大腸癌における意義解明	内藤 裕二	消化器内科	1,300,000	補○ 日本学術振興会 委
一酸化炭素による腸管炎症制御・粘膜損傷治療効果の分子機構解明	高木 智久	消化器内科	1,430,000	補○ 日本学術振興会 委
組み込みHBVをターゲットとした肝癌細胞増殖制御	南 祐仁	消化器内科	1,560,000	補○ 日本学術振興会 委
虚血再灌流障害に対するプレおよびポストコンディショニング効果発現差異の解明	鎌田 和浩	消化器内科	1,560,000	補○ 日本学術振興会 委
アザチオプリン血中濃度予測バイオマーカーとしてのSLC38A9:機能・有用性解析	内山 和彦	消化器内科	2,470,000	補○ 日本学術振興会 委
非アルコール性脂肪性肝疾患の脂質鉄代謝異常に関する新たな解析	光吉 博則	消化器内科	2,990,000	補○ 日本学術振興会 委
肝癌の増殖と肝再生におけるApg-2の意義	伊藤 義人	消化器内科	2,080,000	補○ 日本学術振興会 委
染色体異常解析を用いた膵臓癌における発癌原因遺伝子の探索	吉田 直久	消化器内科	1,820,000	補○ 日本学術振興会 委
食道癌の増幅遺伝子SOX2のAKT経路を介した腫瘍増殖機序の解明と治療への応用	玄 泰行	消化器内科	1,560,000	補○ 日本学術振興会 委
化学物質過敏症の病態解明と疾患概念の確立に関する基礎的研究	吉川 敏一	消化器内科	39,000	補○ 文部科学省 委
農林水産物・食品の機能性等を解析・評価するための基盤技術の開発	吉川 敏一	消化器内科	90,000,000	補 農林水産省 委○
PGC-1を標的とした加齢性筋代謝不全予防食品の開発	内藤 裕二	消化器内科	1,498,900	補 科学技術振興機 委○ 構(JST)
腸管の炎症抑制による便通異常の改善を目指した新しい機能性食品の開発	高木 智久	消化器内科	2,499,900	補 科学技術振興機 委○ 構(JST)

研究課題名	研究者氏名	所属部門	金額	補助元又は委託元
消化管機能分子と血清タンパク質の系統的解析による抗糖尿病機能性糖鎖の開発	内藤 裕二	消化器内科	24,050,000	補 科学技術振興機構 (JST) 委○
がん免疫治療のサロゲートマーカーの確立、並びに効果増強手段としての温熱療法の検討	岡山 哲也	消化器内科	1,560,000	補○ 日本学術振興会 委
機能性ディスペプシアに対する六君子湯の有効性・安全性の科学的エビデンスを創出するための他施設共同二重盲検無作為化プラセボ対照比較試験	内藤 裕二	消化器内科	1,500,000	補○ 厚生労働省 委
急性膵炎・重症急性膵炎の治療と予後に関する国際比較	阪上 順一	消化器内科	800,000	補○ 厚生労働省 委
ペルオキシレドキシシ6のメチルグリオキザールによる翻訳後修飾を標的とした糖尿病合併症の評価系開発	伊藤 友子	消化器内科	986,260	補 科学技術振興機構 (JST) 委○
早期診断マルチバイオマーカー	八木 信明	消化器内科	15,000,000	補 文部科学省 委○
食道扁平上皮癌における細胞極性制御因子PAR-3遺伝子欠失の機能解析	安居 幸一郎	消化器内科	1,950,000	補○ 日本学術振興会 委
ナイーブTリンパ球の特性を考慮した新規複合免疫療法の開発	石川 剛	消化器内科	1,560,000	補○ 日本学術振興会 委
糖尿病合併症の発症を予防する食品因子の探索とその作用機序解明	伊藤 友子	消化器内科	1,820,000	補○ 日本学術振興会 委
運動が腸管免疫の変化に及ぼす影響～抗菌ペプチドによる検討～	谷村 祐子	消化器内科	1,040,000	補○ 日本学術振興会 委
CHP/NY-ESO-1ポリペプチドがんワクチンの術後食道癌症例を対象とした多施設共同前期第II相臨床試験	古倉 聡	消化器内科	4,000,000	補○ 厚生労働省 委
血中ペルオキシレドキシシ6のメチルグリオキザールによる翻訳後修飾を標的とした糖尿病合併症の早期診断法の開発	伊藤 友子	消化器内科	1,000,000	補 科学技術振興機構 (JST) 委○
肺高血圧症の新規治療ターゲット、筋特異的カペオラタンパクMURCの機能解析	小形 岳寛	循環器内科	1,820,000	補○ 日本学術振興会 委
血管周囲脂肪の胎児プログラミングによる遺伝子発現調節を標的とした動脈硬化予防戦略	山田 浩之	循環器内科	3,250,000	補○ 日本学術振興会 委
TIGARを介する心筋エネルギー代謝フレキシビリティとApoptosis制御	三田 雄一郎	循環器内科	1,820,000	補○ 日本学術振興会 委
不全心筋におけるミトコンドリア品質管理因子の制御機構解明及び治療への応用	的場 聖明	循環器内科	65,000	補○ 文部科学省 委
MURCによる心筋細胞のカペオラとトランスポートソームの制御機構の解明	上山 知己	循環器内科	1,690,000	補○ 日本学術振興会 委
遺伝子改変マウスにおけるマイクロRNAの抗腫瘍作用と心臓・平滑筋での機能の解析	上山 知己	循環器内科	130,000	補○ 文部科学省 委

研究課題名	研究者氏名	所属部門	金額	補助元又は委託元
新規遺伝子ARIAによる血管新生・血管発生制御機構の解明と虚血性疾患への治療応用	池田 宏二	循環器内科	1,950,000	補○ 日本学術振興会 委
CAPDにおける腹膜保全：チロシンキナーゼPYK2制御による線維化抑制	森 泰清	腎臓内科	3,250,000	補○ 日本学術振興会 委
動脈硬化性血管障害へのS100A12タンパク質の関与とその機序の解明	森 泰清	腎臓内科	520,000	補○ 文部科学省 委
心不全の基礎疾患と病期を考慮した新しい包括的心不全治療法の開発	浅沼 博司	腎臓内科	1,170,000	補○ 日本学術振興会 委
DPP-4阻害薬によるアデノシンの心血管保護を介した新しい心不全治療の開発	浅沼 博司	腎臓内科	2,600,000	補○ 文部科学省 委
LPS惹起肺水腫におけるHGFによる回復機構	岩崎 吉伸	呼吸器内科	1,430,000	補○ 日本学術振興会 委
食後高血糖を抑制する独自の糖尿病食事療法の動脈硬化抑制に関する研究	福井 道明	内分泌・糖尿病・代謝内科	130,000	補○ 文部科学省 委
IFN・サイトカインシステム検討による新型インフルエンザ重症化ハイリスク群の検証	福井 道明	内分泌・糖尿病・代謝内科	195,000	補○ 文部科学省 委
加齢指標蛋白質SMP30の糖尿病合併症発症における役割	長谷川 剛二	内分泌・糖尿病・代謝内科	1,820,000	補○ 日本学術振興会 委
アンドロゲン低下によるインスリン抵抗性惹起機構の解明	福井 道明	内分泌・糖尿病・代謝内科	1,430,000	補○ 日本学術振興会 委
悪性リンパ腫に対する最適化されたモノクローナル抗体併用療法の開発による標準的治療法の確立	谷脇 雅史	血液内科	800,000	補○ 厚生労働省 委
白血病ゲノムに基づく戦略的治療デザインの確立	谷脇 雅史	血液内科	3,000,000	補 文部科学省 委○
多発性骨髄腫に対する至適分子標的療法の確立とバイオマーカーの探索研究	黒田 純也	血液内科	1,000,000	補 国立がん研究センターがん研究 委○ 開発費事務局
多発性骨髄腫におけるIG転座, PVT1, DCCの分子遺伝学的解析と臨床応用	谷脇 雅史	血液内科	910,000	補○ 日本学術振興会 委
白血病における骨髄微小環境誘導性ガレクチン-3の機能解析と新規分子標的治療の開発	黒田 純也	血液内科	1,430,000	補○ 日本学術振興会 委
体性細胞から成熟心筋細胞への分化誘導法の構築	五條 理志	血液内科	1,170,000	補○ 日本学術振興会 委
担がん患者の骨微小環境の解析の間葉系幹細胞の病態への動的関与	五條 理志	血液内科	130,000	補○ 文部科学省 委

研究課題名	研究者氏名	所属部門	金額	補助元又は委託元
ヒト心筋分化誘導因子の同定ー誘導メカニズムの解明ー	上 大 介	血液内科	1,170,000	補○ 委 日本学術振興会
超音波・MRI血流可視化システムに基づく成人期ファロー四徴症の手術適応基準の確立	五 條 理 志	血液内科	104,000	補○ 委 文部科学省
A I Fー1分子の機能解析と関節リウマチの治療法の開発	川人 豊	膠原病・リウマチ・アレルギー科	1,430,000	補○ 委 日本学術振興会
関節リウマチにおけるスフィンゴシン1リン酸レセプター3 (S1P3) の働き	河野 正孝	膠原病・リウマチ・アレルギー科	1,560,000	補○ 委 日本学術振興会
シェーグレン症候群の病因解明と治療法開発に向けた基礎的な研究	石野 秀岳	膠原病・リウマチ・アレルギー科	1,170,000	補○ 委 日本学術振興会
我が国における関節リウマチ治療の標準化に関する多層的研究	川人 豊	膠原病・リウマチ・アレルギー科	1,000,000	補○ 委 厚生労働省
遺伝性脳小血管病およびその類縁疾患の診断基準の確立と治療法の研究	水野 敏樹	神経内科	1,200,000	補○ 委 厚生労働省
わが国で発見された感覚障害を伴う家族性運動ニューロン病の海外学術調査と病態解明	中川 正法	神経内科	8,190,000	補○ 委 日本学術振興会
TGFβ1シグナルによる脳小血管病変発症・脳腎連関の分子機構解明	水野 敏樹	神経内科	1,040,000	補○ 委 日本学術振興会
ミラーセラピーによる脳梗塞急性期の可塑的修復過程のメカニズムの解明	近藤 正樹	神経内科	2,470,000	補○ 委 日本学術振興会
変異GFAP遺伝子導入アレキサンダー病疾患モデルに対する薬剤効果研究	吉田 誠克	神経内科	1,950,000	補○ 委 日本学術振興会
q space imaging の認知症への臨床応用	牧野 雅弘	神経内科	2,990,000	補○ 委 日本学術振興会
iPS細胞から分化誘導したアストロサイトをを用いたアレキサンダー病の病態解明	中川 正法	神経内科	1,170,000	補○ 委 日本学術振興会
脳梗塞急性期血圧の新規関連因子であるアロスタティック負荷と血管内皮機能障害の解明	富井 康宏	神経内科	2,730,000	補○ 委 日本学術振興会
アルファ・シヌクレインの神経毒性及びプリオン様伝播の分子機構の解明とその臨床応用	建部 陽嗣	神経内科	1,560,000	補○ 委 日本学術振興会
脊髄損傷後の大脳皮質での神経回路の可塑性における逆行性軸索輸送の機能の解明	大原 亮	神経内科	1,560,000	補○ 委 日本学術振興会

小計

16

研 究 課 題 名	研究者氏名	所属部門	金 額	補助元又は委託元
老化及び老年病に関する長期縦断疫学研究	中川 正法	神経内科	1,400,000	補 独立行政法人国 立長寿医療研究 委○センター
難治性ニューロパチーの診断技術と治療法の開発に関する研究(Charcot-Marie-Tooth病の診断と治療)	中川 正法	神経内科	900,000	補 国立精神・神経 委○医療センター
希少性難治性疾患の疫学、病態解明、診断・治療法の開発に関する研究	中川 正法	神経内科	3,900,000	補○ 委 厚生労働省
希少性難治性疾患－神経・筋難病疾患の進行抑制治療効果を得るための新たな医療機器、生体電位等で随意コントロールされた下肢装着型補助ロボット	中川 正法	神経内科	1,000,000	補○ 委 厚生労働省
次世代遺伝子解析技術を用いた希少難治性疾患の原因究明及び病態解明に関する研究	中川 正法	神経内科	8,000,000	補○ 委 厚生労働省
希少性難治性疾患患者に関する医療の向上及び患者支援のあり方に関する研究	中川 正法	神経内科	600,000	補○ 委 厚生労働省
ミトコンドリア病の診断と治療に関する調査研究	中川 正法	神経内科	500,000	補○ 委 厚生労働省
HAMの新規バイオマーカー同定による重症度別治療指針作成と病因細胞標的治療法の開発	中川 正法	神経内科	2,000,000	補○ 委 厚生労働省
神経変性疾患に関する調査研究	徳田 隆彦	神経内科	2,800,000	補○ 委 厚生労働省
アルファ・シヌクレインオリゴマーの物性・細胞毒性機序の解明と分子標的治療への応用	徳田 隆彦	神経内科	1,560,000	補○ 委 日本学術振興会
消化器癌患者の血中遊離核酸を用いた新たな診断法の開発と個別化バイオマーカーの試み	市川 大輔	消化器外科	1,170,000	補○ 委 日本学術振興会
新しい胃癌の癌抑制遺伝子RUNX3の細胞分化・癌化機構の解明と診断・治療への応用	阪倉 長平	消化器外科	1,040,000	補○ 委 日本学術振興会
TNF- α とClaudin-1を分子標的とした新規胃癌腹膜播種性転移治療法の開発	内藤 和世	消化器外科	1,560,000	補○ 委 日本学術振興会
新規癌遺伝子による消化器癌の早期診断と化学放射線療法感受性予測法の開発	園山 輝久	消化器外科	1,170,000	補○ 委 日本学術振興会
消化器癌患者の血漿中遊離核酸を用いたテーラーメイド個別化バイオマーカーの開発	岡本 和真	消化器外科	1,040,000	補○ 委 日本学術振興会
5-ALA投与後蛍光観察による胃癌手術中の新しいリンパ節転移診断法の開発	中西 正芳	消化器外科	1,690,000	補○ 委 日本学術振興会

小計

16

研 究 課 題 名	研究者氏名	所属部門	金 額	補助元又は委託元
消化器癌における新規癌関連遺伝子DTLの癌化機構の解明と臨床応用	當麻 敦史	消化器外科	1,560,000	補○ 委 日本学術振興会
細胞内クロライドイオン制御による新規胃癌腹膜播種性転移治療法の開発	國場 幸均	消化器外科	1,560,000	補○ 委 日本学術振興会
食道癌に対するテーラーメイド分子標的化学放射線療法の基礎的研究	藤原 斉	消化器外科	2,080,000	補○ 委 日本学術振興会
アクアポリン発現解析に基づく食道癌低浸透圧細胞破壊療法の開発	石井 博道	消化器外科	1,950,000	補○ 委 日本学術振興会
食道癌におけるアダプター蛋白XB130とシスチン輸送体xCTの分子間相互作用解析	塩崎 敦	消化器外科	2,210,000	補○ 委 日本学術振興会
ゲノム構造解析による食道癌の新規癌関連遺伝子の同定と臨床応用	小松 周平	消化器外科	1,430,000	補○ 委 日本学術振興会
5-アミノレブリン酸(5-ALA)とランタニドナノ粒子(LNP)併用による深部微小癌局在診断技術の構築	大辻 英吾	消化器外科	11,267,000	補 委○ 科学技術振興機構(JST)
患者の術前・術後ペア血液中遊離microRNAを用いた斬新な消化器癌診断バイオマーカーの開発	市川 大輔	消化器外科	1,518,321	補 委○ 科学技術振興機構(JST)
がんの医療経済的な解析を踏まえた患者負担の在り方に関する研究	大辻 英吾	消化器外科	900,000	補○ 委 厚生労働省
D. I. Y. Medicine: 患者体内で作る自家移植用心臓代用弁の開発	神田 圭一	心臓血管外科	5,460,000	補○ 委 日本学術振興会
新しいステントレス僧帽弁の開発: 臨床応用に向けて	夜久 均	心臓血管外科	5,720,000	補○ 委 日本学術振興会
MRIを用いた虚血性心筋症術後の心事故関連因子の検討	大川 和成	心臓血管外科	1,950,000	補○ 委 日本学術振興会
患者体内で簡便かつ安全に作成できる『心血管組織補填用自家結合組織シート』の開発	坂井 修	心臓血管外科	1,300,000	補○ 委 日本学術振興会
患者の体内で自家組織から形成する『微小脈管再建用無吻合バイオチューブ』の開発	渡辺 太治	心臓血管外科	2,210,000	補○ 委 日本学術振興会
患者が自己体内で作製する自家結合組織小口径代用血管の応用	渡辺 太治	心臓血管外科	300,000	補 委○ 科学技術振興機構(JST)
超細径カメラを用いた冠動脈バイパス術の標的血管性状の評価と患者の予後予測法の確立	夜久 均	心臓血管外科	200,000	補 委○ 科学技術振興機構(JST)
マルチタッチ・スクリーンを用いた直感的な胸腔鏡コントロールシステムの開発	島田 順一	呼吸器外科	3,640,000	補○ 委 日本学術振興会

研 究 課 題 名	研究者氏名	所属部門	金額	補助元又は委託元
デスクトップ画面共有を活用したユビキタス画像読影トレーニングシステムの構築	伊藤 和弘	呼吸器外科	3,120,000	補○ 委 日本学術振興会
エネルギーデバイスを用いた切離における組織補強素材の検討	島田 順一	呼吸器外科	1,040,000	補○ 委 日本学術振興会
肺癌細胞株におけるパクリタキセルの新規細胞内標的タンパク質の同定	下村 雅律	呼吸器外科	707,252	補 委○ 科学技術振興機構 (JST)
カペシタビンによる手足症候群に対するウラシル外用剤の有効性に関する検討	田口 哲也	内分泌・乳腺外科	1,690,000	補○ 委 日本学術振興会
生体内脂質・蛋白の酸化・糖化変性による薬物動態変動機構の解明とその臨床への応用	牛込 秀隆	移植・一般外科	65,000	補○ 委 文部科学省
前臨床大動物モデルを用いた加齢退縮胸腺の若年化による免疫寛容誘導能の再賦活化戦略	昇 修治	移植・一般外科	3,640,000	補○ 委 日本学術振興会
臓器移植におけるマイクロキメリズム誘導を目指したIL-10メカニズムの解明	吉村 了勇	移植・一般外科	1,430,000	補○ 委 日本学術振興会
リンパ浮腫治療法開発のための脂肪由来幹細胞に関する基礎的研究	西野 健一	形成外科	1,560,000	補○ 委 日本学術振興会
発生学的由来による脂肪組織幹細胞の多様性の解明とそれに基づく再生医療応用の探索	素輪 善弘	形成外科	1,560,000	補○ 委 日本学術振興会
芸術的アプローチ(漫画)を用いた医療イノベーション戦略研究	古野 優一	脳神経外科	1,300,000	補○ 委 日本学術振興会
ビスホスフォネートと放射線併用療法による臨床応用へ向けた骨軟部肉腫治療法の開発	村田 博昭	整形外科	1,690,000	補○ 委 日本学術振興会
ラマン分光顕微鏡を用いた新たな末梢神経再生評価法の検討	森崎 真介	整形外科	1,560,000	補○ 委 日本学術振興会
ストレス応答機構を軸とした変形性関節症に対する分子標的治療の新展開	久保 俊一	整形外科	5,850,000	補○ 委 日本学術振興会
自家多血小板血漿を用いた椎間板再生法 - 臨床応用に向けた安全性の検証 -	三上 靖夫	整形外科	1,170,000	補○ 委 日本学術振興会
物理刺激による骨芽細胞の応答メカニズムの解明—メカニカルストレスと微弱電流刺激	金 郁喆	整形外科	1,430,000	補○ 委 日本学術振興会
P53-RB経路を標的とした悪性骨軟部腫瘍に対する遺伝子調節化学療法	辻 吉郎	整形外科	1,170,000	補○ 委 日本学術振興会
生体吸収材料および成長因子を用いた肩腱板修復促進法の開発	森原 徹	整形外科	1,300,000	補○ 委 日本学術振興会

研 究 課 題 名	研究者氏名	所属部門	金額	補助元又は委託元
拡散テンソル法を用いた末梢神経再生に対する非侵襲的診断法の確立にむけた基礎的研究	小田 良	整形外科	1,820,000	補○ 委 日本学術振興会
多血小板血漿と生体吸収性材料を用いた脊椎固定術の開発 —臨床応用への橋渡し研究—	池田 巧	整形外科	1,690,000	補○ 委 日本学術振興会
グルココルチコイドによる髄鞘形成機構の解明および髄鞘形成誘導を介した神経再生促進	藤原 浩芳	整形外科	1,560,000	補○ 委 日本学術振興会
遺伝子多型解析によるステロイド性大腿骨頭壊死症の予防法の開発	井上 重洋	整形外科	1,820,000	補○ 委 日本学術振興会
変形性関節症に対する薬剤併用温熱療法の開拓	久保 俊一	整形外科	1,560,000	補○ 委 日本学術振興会
関節リウマチに対する新たな治療標的としてのconnexin43の可能性	寺内 竜	整形外科	1,690,000	補○ 委 日本学術振興会
ミオスタチンの制御による新しいOA治療法の開拓	新井 祐志	整形外科	2,080,000	補○ 委 日本学術振興会
光触媒と超音波を用いた異物に起因する感染症の撲滅	吉田 隆司	整形外科	2,080,000	補○ 委 日本学術振興会
テトラスパニンCD81を標的とした新規リウマチ治療薬および診断薬の開発	新井 祐志	整形外科	130,000	補○ 委 文部科学省
特発性大腿骨頭壊死症の診断・治療・予防法の開発を目的とした全国学際的研究	久保 俊一	整形外科	2,300,000	補○ 委 厚生労働省
子宮内膜症性卵巣嚢胞からの悪性転化組織を用いた遺伝子変異と異常発現の解析	北脇 城	産婦人科	2,730,000	補○ 委 日本学術振興会
子宮内膜癌における新たなエストロゲン受容体伝達調節機序の解明と内分泌治療への展開	森 泰輔	産婦人科	780,000	補○ 委 日本学術振興会
高速・高精度計測技術を応用した脳神経疾患スクリーニング手法の開発	渡辺 彰英	眼科	5,850,000	補 委○ 科学技術振興機構 (JST)
培養ヒト角膜内皮細胞移植による角膜内皮再生医療の実現化	木下 茂	眼科	130,150,000	補 委○ 文部科学省
遺伝子・細胞操作を駆使したヒト ES/iPS 細胞利用基盤技術の開発	上野 盛夫	眼科	3,250,000	補 委○ 科学技術振興機構 (JST)
Rhoキナーゼ阻害剤を用いた角膜内皮治療薬の開発	木下 茂	眼科	7,020,000	補 委○ 科学技術振興機構 (JST)
高齢者の感覚器機能低下等に対する実態把握と予防・治療法の標準化に関する研究	木下 茂	眼科	16,000,000	補 独立行政法人国立長寿医療研究 委○ センター

小計

17

研究課題名	研究者氏名	所属部門	金額	補助元又は委託元
粘膜上皮細胞のEP3/TLR3軸を分子標的とする革新的抗炎症薬の開発	木下 茂	眼科	1,150,000	補 科学技術振興機 委 構 (JST)
SJS/TENの発症機序解明および発症予測に向けた先駆的研究	外園 千恵	眼科	5,460,000	補 日本学術振興会 委
角膜上皮細胞の細胞特性を規定するコア転写因子群の同定	木下 茂	眼科	8,450,000	補 日本学術振興会 委
角膜内皮の健全性に関与する原始絨毛の存在意義の解明	谷岡 秀敏	眼科	910,000	補 日本学術振興会 委
加齢黄斑変性における網膜色素上皮細胞の危機感知機能の解析	羽室 淳爾	眼科	2,210,000	補 日本学術振興会 委
1000Kチップでの落屑緑内障ゲノムワイド関連解析による日本人固有SNPの同定	池田 陽子	眼科	1,690,000	補 日本学術振興会 委
マクロファージを標的とした新しい眼炎症疾患に対する治療	丸山 和一	眼科	998,553	補 日本学術振興会 委
培養口腔粘膜上皮による眼表面再構築と上皮分化制御による視機能再生への展開	稲富 勉	眼科	1,690,000	補 日本学術振興会 委
カスタムチップを用いた既知の原発開放隅角緑内障関連遺伝子に対する候補遺伝子解析	森 和彦	眼科	1,820,000	補 日本学術振興会 委
臨床応用を目指した角膜上皮幹細胞のex vivo expansion法の開発	川崎 諭	眼科	2,080,000	補 日本学術振興会 委
ドライアイの病態におけるインフラマゾームの関与についての研究	篠宮 克彦	眼科	1,170,000	補 日本学術振興会 委
細胞質内ウイルス認識機構RIG-Iファミリーによる眼表面感染防御機構の解明	木下 茂	眼科	1,170,000	補 日本学術振興会 委
涙液中アミノ酸発現が眼表面疾患の病態に及ぼす影響	外園 千恵	眼科	1,690,000	補 日本学術振興会 委
生体4Dイメージングを用いた角膜創傷治癒過程における炎症制御機構の解明	水野 連太郎	眼科	2,080,000	補 日本学術振興会 委
屈折異常への神経補償の解明と治療への応用	稗田 牧	眼科	1,560,000	補 日本学術振興会 委
TACSTD2によるクローディンタンパク分解抑制メカニズムの分子病態解明	中司 美奈	眼科	2,600,000	補 日本学術振興会 委
マイボーム腺および眼表面上皮の性ホルモンによる機能変化に関わる研究	鈴木 智	眼科	1,560,000	補 日本学術振興会 委

研 究 課 題 名	研究者氏名	所属部門	金 額	補助元又は委託元
環境調整を加味したロービジョンケアプログラムの有効性	外園 千恵	眼科	650,000	補○ 文部科学省 委
アトピー緑内障の病態解析	森 和彦	眼科	260,000	補○ 文部科学省 委
特発性周辺部角膜潰瘍の診断および治療に関する研究	外園 千恵	眼科	13,000,000	補○ 厚生労働省 委
患者支援に基づくSJS/TEN後遺症の発症予防と治療法の確立	外園 千恵	眼科	14,400,000	補○ 厚生労働省 委
膠様滴状角膜変性症の標準的治療レジメンの確立と新規治療法の創出	川崎 諭	眼科	13,000,000	補○ 厚生労働省 委
視覚系の稀少難治性疾患群に関する症例データベース構築	外園 千恵	眼科	3,000,000	補○ 厚生労働省 委
視覚系の稀少難治性疾患群に関する症例データベース構築	稲富 勉	眼科	3,000,000	補○ 厚生労働省 委
重症多形滲出性紅斑に関する調査研究	外園 千恵	眼科	11,000,000	補○ 厚生労働省 委
特発性角膜内皮炎の診断および治療方針の確立に関する研究	稲富 勉	眼科	11,700,000	補○ 厚生労働省 委
緑内障統合的分子診断法の確立と実証	木下 茂	眼科	17,611,000	補○ 厚生労働省 委
緑内障統合的分子診断法の確立と実証	森 和彦	眼科	1,400,000	補○ 厚生労働省 委
膠様滴状角膜変性症の標準的治療レジメンの確立と新規治療法の創出	稲富 勉	眼科	1,600,000	補○ 厚生労働省 委
血小板の機能抑制によるアトピー性皮膚炎のプロアクティブ治療外用剤の開発	峠岡 理沙	皮膚科	400,000	補 科学技術振興機 委○ 構 (JST)
遺伝子導入マクロファージを用いた難治性皮膚潰瘍に対する細胞移植治療に関する研究	竹中 秀也	皮膚科	1,170,000	補○ 日本学術振興会 委
自然炎症がアトピー性皮膚炎の発症と慢性化に果たす役割の分子機構の解明	加藤 則人	皮膚科	1,950,000	補○ 日本学術振興会 委
血小板により誘導される炎症の制御機構の解明とそれに基づく新規治療法の開発	峠岡 理沙	皮膚科	2,080,000	補○ 日本学術振興会 委
女性の男性型脱毛症におけるアンドロゲンレセプターを介した病態に関する研究	野見山 朋子 (北川 朋子)	皮膚科	1,170,000	補○ 日本学術振興会 委

研 究 課 題 名	研究者氏名	所属部門	金額	補助元又は委託元
自己末梢血由来培養マクロファージ移植による術後リンパ浮腫治療に関する基礎研究	浅井 純	皮膚科	1,950,000	補○ 委 日本学術振興会
データベース化を目指したヒトメラノーマ特異的RNA干渉分子療法の開発	中井 章淳	皮膚科	2,990,000	補○ 委 日本学術振興会
皮膚バリア障害によるアレルギーマーチ発症機序解明に関する研究	加藤 則人	皮膚科	2,000,000	補○ 委 厚生労働省
新規前立腺癌治療薬の医師主導治験の推進	三木 恒治	泌尿器科	2,400,000	補○ 委 大阪大学
アンドロゲン受容体新規転写共役抑制因子を介した精巣腫瘍発生の分子機構の解析	三木 恒治	泌尿器科	5,070,000	補○ 委 日本学術振興会
ショウジョウバエモデルを用いた前立腺癌の新規治療標的因子の探索	河内 明宏	泌尿器科	7,800,000	補○ 委 日本学術振興会
前立腺局所療法のためのがん病巣および治療範囲の双方向性マッピング法の開発	鴨井 和美	泌尿器科	390,000	補○ 委 日本学術振興会
精巣腫瘍における癌精巣抗原の発現パターンの解析とその予後予測への応用	中村 晃和	泌尿器科	2,210,000	補○ 委 日本学術振興会
一酸化窒素供与剤併用による新規腎癌治療法の開発	本郷 文弥	泌尿器科	3,120,000	補○ 委 日本学術振興会
磁性ナノビーズを用いた前立腺癌におけるタキサン系抗癌剤耐性獲得機序の解明	高羽 夏樹	泌尿器科	2,080,000	補○ 委 日本学術振興会
男性機能障害モデルラットを用いた勃起障害と中枢神経ペプチド発現の比較解析	河内 明宏	泌尿器科	1,820,000	補○ 委 日本学術振興会
がんの診療科データベースとJapanese National Center Database(JNCDB)の構築と運用	三木 恒治	泌尿器科	400,000	補○ 委 厚生労働省
がん登録からみたがん診療ガイドラインの普及効果に関する研究－診療動向と治療成績の変化－	三木 恒治	泌尿器科	200,000	補○ 委 厚生労働省
L o - M Y Cマウスを用いた前立腺癌のChemoprevention	岩田 健	泌尿器科	780,000	補○ 委 日本学術振興会
マウス片側尿管閉塞モデルを用いたMRTF分子を介する新しい腎間質線維化機構の解明	木村 泰典	泌尿器科	1,950,000	補○ 委 日本学術振興会
内耳機能(聴・平衡覚)とその障害における低分子量G蛋白質および活性酸素種の役割	坂口博史	耳鼻咽喉科・ 頭頸部外科	130,000	補○ 委 文部科学省
脳幹における嚔下関連ニューロンネットワークの生理学的ならびに組織学的研究	杉山庸一郎	耳鼻咽喉科・ 頭頸部外科	520,000	補○ 委 文部科学省

小計
17

研究課題名	研究者氏名	所属部門	金額	補助元又は委託元
喉頭挙上筋障害時における残存筋機能制御様式の変化に関する研究	馬場 均	耳鼻咽喉科・頭頸部外科	780,000	補○ 日本学術振興会 委
発生期内耳有毛細胞の形態形成に関する研究	坂口 博史	耳鼻咽喉科・頭頸部外科	1,820,000	補○ 日本学術振興会 委
喉頭における自律神経系受容体の時間特異的発現と時計遺伝子による制御機構の解明	西尾 健志	耳鼻咽喉科・頭頸部外科	1,560,000	補○ 日本学術振興会 委
筋萎縮性側索硬化症における嚥下障害の病態の解明 -モデルマウスを用いて-	斉藤 敦志	耳鼻咽喉科・頭頸部外科	780,000	補○ 日本学術振興会 委
喉頭、気管ケミカルメディエーター受容体発現の日内変動の解析	板東 秀樹	耳鼻咽喉科・頭頸部外科	1,300,000	補○ 日本学術振興会 委
セロトニン神経系の障害をともなう精神疾患における意思決定神経基盤の解明	成本 迅	精神科・心療内科	5,980,000	補○ 文部科学省 委
マルチモーダル・イメージングを用いた強迫性障害における島皮質関連神経基盤の解明	中前 貴	精神科・心療内科	1,950,000	補○ 日本学術振興会 委
摂食障害患者家族の疾患心理教育および交流会プログラムによる効果についての実証研究	水原 祐起	精神科・心療内科	1,690,000	補○ 日本学術振興会 委
PTSDモデル動物におけるNFκBを標的としたバイオマーカー探索研究	吉井 崇喜	精神科・心療内科	1,690,000	補○ 日本学術振興会 委
地域での高齢者のうつ予防の心理教育プログラムの開発と支援体制の構築に関する研究	成本 迅	精神科・心療内科	520,000	補○ 日本学術振興会 委
強迫性障害におけるメタ認知の神経基盤解明とメタ認知的介入に関する統合的研究	成本 迅	精神科・心療内科	390,000	補○ 日本学術振興会 委
認知症者のアパシーの治療やリハビリを目的としたクロスモーダル刺激提示の研究	成本 迅	精神科・心療内科	1,300,000	補○ 日本学術振興会 委
数理モデル解析を用いた機能的MRIによる強迫性障害の意思決定神経基盤の解明	成本 迅	精神科・心療内科	2,470,000	補○ 日本学術振興会 委
有機溶剤初期乱用者の病態に関する神経科学的研究および治療薬の開発	福居 顯二	精神科・心療内科	1,040,000	補○ 日本学術振興会 委
在宅高齢者の“こころ”を支えるICTシステムの開発	成本 迅	精神科・心療内科	1,326,000	補 総務省 (SCOPE) 委○
認知症高齢者の医療選択をサポートするシステムの開発	成本 迅	精神科・心療内科	5,015,400	補 科学技術振興機構 (JST) 委○
Qスペースイメージングを用いた脳の構造解析	山田 恵	放射線科	1,040,000	補○ 日本学術振興会 委

研 究 課 題 名	研究者氏名	所属部門	金 額	補助元又は委託元
呼気中一酸化窒素測定による胸部放射線治療後放射線肺臓炎の早期発見・治療効果判定	山崎 秀哉	放射線科	2,600,000	補○ 委 日本学術振興会
I Tを用いた高齢者における転倒・転落監視システムの構築とその実践	西村 恒彦	放射線科	2,210,000	補○ 委 日本学術振興会
糖尿病の進行度が脳内アミロイド沈着及び糖代謝に及ぼす影響—P E Tによる検討—	松島 成典	放射線科	260,000	補○ 委 日本学術振興会
A D C値の変化を用いた進行食道癌に対する化学放射線療法の早期治療効果判定法の検討	坪倉 卓司	放射線科	910,000	補○ 委 日本学術振興会
拡散強調画像を利用した側脳室内脳脊髄液の温度測定における基礎的検討	赤澤 健太郎	放射線科	1,690,000	補○ 委 日本学術振興会
複数 b 値拡散強調像を用いた単純M R Iによる新しい乳腺病変質的診断法の開発	後藤 真理子	放射線科	2,340,000	補○ 委 日本学術振興会
媒体注入下の肺スリカラス結節に対するラシオ波焼灼療法の基礎的・臨床的研究	三浦 寛司	放射線科	2,210,000	補○ 委 日本学術振興会
グラム陰性菌のV抗原及びその相同タンパクに対する血清疫学調査	佐和 貞治	麻酔科	7,280,000	補○ 委 日本学術振興会
腎肺クロストークを介した人工呼吸器誘発性腎障害のメカニズム解明	橋本 悟	麻酔科	3,250,000	補○ 委 日本学術振興会
m T O Rを介した末梢神経プロテオームの変化による疼痛発症のメカニズム解析	天谷 文昌	麻酔科	1,820,000	補○ 委 日本学術振興会
遺伝子ノックダウン手法を用いた血小板細胞死がもたらす敗血症増悪病態の解明	中嶋 康文	麻酔科	2,470,000	補○ 委 日本学術振興会
転写因子C / E B P β による好中球造血・機能制御の解析に基づく敗血症病態の解明	志馬 伸朗	麻酔科	1,560,000	補○ 委 日本学術振興会
急性肺損傷における肺上皮被覆液プロテオームの解析	佐和 貞治	麻酔科	910,000	補○ 委 日本学術振興会
単球系細胞のP P A R γ 活性化による敗血症病態の解明と新しい治療法の開発	深澤 まどか	麻酔科	1,040,000	補○ 委 日本学術振興会
心肺補助循環時の血小板減少症の機序解明と生理活性物質による予防法・治療法の開発	加藤 祐子	麻酔科	1,170,000	補○ 委 日本学術振興会
上皮間葉相互移行を標的とした急性肺損傷後の上皮修復メカニズムの解明と治療への応用	橋本 壮志	麻酔科	2,210,000	補○ 委 日本学術振興会
敗血症病態が及ぼす単球系細胞内m i c r o R N Aの発現変化と炎症消退機能への影響	澤田 麻衣子	麻酔科	3,120,000	補○ 委 日本学術振興会

小計
17

研 究 課 題 名	研究者氏名	所属部門	金額	補助元又は委託元
敗血症病態における単球系細胞死の機序解明と炎症消退脂質による新しい治療法の開発	中山 力恒	麻酔科	3,120,000	補○ 日本学術振興会 委
急性肺傷害における肺被覆液中の炎症消退脂質分子のLC-ESI-MS(n)解析	徳平 夏子	麻酔科	2,080,000	補○ 日本学術振興会 委
人工呼吸器関連肺炎と緑膿菌Ⅲ型分泌毒性についての臨床疫学調査	阪口 雅洋	麻酔科	2,600,000	補○ 日本学術振興会 委
血小板内microRNA発現の違いが心肺補助循環時の血小板機能低下へ及ぼす影響	前田 祥子	麻酔科	3,120,000	補○ 日本学術振興会 委
人工心肺手術における血栓形成メカニズムの解明と、新規モニタリング装置への応用	小川 覚	麻酔科	1,560,000	補○ 日本学術振興会 委
難治性疼痛の痛覚-情動系の分子機構解析と栄養因子治療応用	伊吹 京秀	麻酔科	13,000,000	補○ 文部科学省 委
高い細胞増殖率と回収効率を実現する多機能金属製培養器の開発	佐和 貞治	麻酔科	1,999,400	補 科学技術振興機構 (JST) 委○
術後譫妄と覚醒意識レベル評価のためのα波に関する後頭前頭誘導脳波の同時解析	林 和子	麻酔科	2,080,000	補○ 日本学術振興会 委
椎間板性腰痛における疼痛発症メカニズムの解明	伊吹 京秀	麻酔科	2,600,000	補○ 日本学術振興会 委
分子プロファイリングによる新規標的の同定を通じた難治がん治療法開発	細井 創	小児科	1,000,000	補 文部科学省 委○
血液中遊離核酸(miRNA)を用いた癌診断のための核酸抽出キットの開発	細井 創	小児科	7,199,850	補 特定非営利活動 委○ 法人近畿バイオ 振興会議
拡散テンソル画像を用いた早産児の発達予後の評価	森本 昌史	小児科	1,950,000	補○ 日本学術振興会 委
小児肥満におけるグレリンおよびグレリン受容体遺伝子多型と食行動習慣の関連解析	中島 久和	小児科	2,340,000	補○ 日本学術振興会 委
患者樹状細胞由来のexosomeを用いた腫瘍選択的核酸デリバリー	細井 創	小児科	1,950,000	補○ 日本学術振興会 委
胞巣型横紋筋肉腫に対する新規分子標的RPS6KA1の機能解析と治療応用	宮地 充	小児科	1,690,000	補○ 日本学術振興会 委
神経芽腫がん幹細胞の幹細胞特性維持と分化障害の分子機構解明	柳生 茂希	小児科	3,380,000	補○ 日本学術振興会 委
iPS細胞技術を用いた腫瘍肝細胞のリプログラミングによる小児難治性肉腫の治療開発	細井 創	小児科	390,000	補○ 文部科学省 委

研 究 課 題 名	研究者氏名	所属部門	金額	補助元又は委託元
神経芽腫における標準治療の確立と新規治療の開発に関する研究	家原 知子	小児科	350,000	補○ 厚生労働省 委
小児がんの血清核酸を用いた新規診断方法の開発	家原 知子	小児科	1,300,000	補○ 京都市 委
難治性横紋筋肉腫の病態に基づいた新規診断・治療法の開発	細井 創	小児科	4,160,000	補○ 日本学術振興会 委
胎児型横紋筋肉腫に認めた新規融合遺伝子の機能解析と病態解明	土屋 邦彦	小児科	650,000	補○ 日本学術振興会 委
M L L再構成陽性急性骨髄性白血病の新規治療標的の探索	今村 俊彦	小児科	1,690,000	補○ 日本学術振興会 委
難治性川崎病における血小板蛋白の網羅的解析と新しい標的治療のための萌芽的検討	濱岡 建城	小児循環器・腎臓科	1,820,000	補○ 日本学術振興会 委
新化合物ジクロロアセチルカルニチンの虚血後再灌流臓器障害抑制効果の検討	糸井 利幸	小児循環器・腎臓科	910,000	補○ 日本学術振興会 委
多能性幹細胞からの高分化型刺激伝導系心筋細胞の開発	周藤 文明	小児循環器・腎臓科	2,210,000	補○ 日本学術振興会 委
川崎病血管炎から動脈硬化性変化への進展に関する増悪メカニズムを探索	河井 容子	小児循環器・腎臓科	1,300,000	補○ 日本学術振興会 委
A p e l i n - A P J s y s t e mを標的とした腎線維化治療の検討	西田 眞佐志	小児循環器・腎臓科	1,300,000	補○ 日本学術振興会 委
リピドーム検索を用いた先天性心疾患心虚血再灌流障害時のエネルギー代謝に関する研究	岡 達二郎	小児循環器・腎臓科	1,820,000	補○ 日本学術振興会 委
動物モデルを用いた川崎病血管炎発症メカニズムに関する分子免疫学的研究	中村 明宏	小児循環器・腎臓科	1,040,000	補○ 日本学術振興会 委
虚血再灌流後の肺高血圧危急発生機序に関する研究	問山 健太郎	小児循環器・腎臓科	1,690,000	補○ 日本学術振興会 委
直腸肛門奇形 r e s c u e p r o g r a m からみた後腸協調発生の分子生物学的解明	佐々木 康成	小児外科	650,000	補○ 日本学術振興会 委
ポリグリコール酸フェルトをマトリックスとした生体内自己小腸再生療法の開発	木村 修	小児外科	1,040,000	補○ 日本学術振興会 委
トランスジェニックマウスを用いた小児がんに対する新規免疫遺伝子治療法の開発	田尻 達郎	小児外科	1,690,000	補○ 日本学術振興会 委
先天性横隔膜ヘルニアの重度肺低形成に対する胎児治療法の開発	古川 泰三	小児外科	650,000	補○ 日本学術振興会 委

小計
17

研 究 課 題 名	研究者氏名	所属部門	金額	補助元又は委託元
新生児壊死性腸炎に対する神経ペプチド投与による新たな治療法の開発	坂井 宏平	小児外科	780,000	補○ 委 日本学術振興会
小児肝がん研究グループによるアジア地域の小児肝がん調査と国際共同研究基盤整備	田尻 達郎	小児外科	390,000	補○ 委 文部科学省
食道閉鎖症モデルの作成および再生医療を応用した食道再建術の開発	佐々木 康成	小児外科	130,000	補○ 委 文部科学省
先天性横隔膜全欠損に対する遺伝子導入および再生医療を応用とした新規治療法の開発	田尻 達郎	小児外科	130,000	補○ 委 文部科学省
小児固形悪性腫瘍におけるGLYPICAN 3をターゲットとした分子標的治療	田尻 達郎	小児外科	130,000	補○ 委 文部科学省
MYCNトランスジェニックマウスを用いた神経芽腫新規分子標的治療の開発	田尻 達郎	小児外科	130,000	補○ 委 文部科学省
腫瘍スフェア形成機構の網羅的・遺伝的解析によるがん幹細胞特異的療法の開発	田尻 達郎	小児外科	195,000	補○ 委 文部科学省
小児期からの消化器系希少難治性疾患群の包括的調査研究とシームレスなガイドライン作成	田尻 達郎	小児外科	600,000	補○ 委 厚生労働省
神経芽腫に対するセンダイウィルスベクター導入樹状細胞を用いた遺伝子治療の開発	田尻 達郎	小児外科	1,100,000	補 委○ 千葉県がん研究センター
神経芽腫における標準治療の確立と新規治療の開発に関する研究	田尻 達郎	小児外科	350,000	補○ 委 厚生労働省
超薄型ポリテトラフルオロエチレン肺動脈弁の開発	山岸 正明	小児心臓血管外科	1,300,000	補○ 委 日本学術振興会
マルチスライスCTによる複雑心奇形評価と軟性ウレタン樹脂光造形による心模型の開発	前田 吉宣	小児心臓血管外科	1,300,000	補○ 委 日本学術振興会
臨床応用を念頭に置いた羊膜を基質とした培養歯髄由来細胞シートの開発	山本 俊郎	歯科	1,430,000	補○ 委 日本学術振興会
臨床応用を目指した羊膜を基質とした培養歯根膜由来細胞シートの開発に関する研究	雨宮 傑	歯科	1,040,000	補○ 委 日本学術振興会
羊膜の抗炎症・感染抑制作用に着目した新規培養歯根膜由来細胞シートに関する研究	熊本 園子	歯科	1,430,000	補○ 委 日本学術振興会
β-クリプトキサンチンを用いた新たな歯周病予防・治療薬の開発	大迫 文重	歯科	1,950,000	補○ 委 日本学術振興会
特定健診事業における歯周病とメタボリックシンドロームの関連性についての横断的研究	西垣 勝	歯科	4,030,000	補○ 委 日本学術振興会

小計
17

高度の医療技術の開発及び評価を行う能力を有することを証する書類

2 論文発表等の実績

雑 誌 名	題 名	発 表 者 氏 名	所 属 部 門
Biochemical and Biophysics Research Communications. 432巻1号、2013年3月1日	Serglycin is a novel adipocytokine highly expressed in epicardial adipose tissue	Imoto-Tsubakimoto Hiroko	循環器内科
Heart and Vessels 28巻1号 2013年1月	Clinical characteristics of silent myocardial ischemia diagnosed with adenosine stress 99mTc-tetrofosmin myocardial scintigraphy in Japanese patients with acute cerebral infarction	Nomura Tetsuya	循環器内科
Biochemistry Biophysics Research Communications. 482巻4号、2012年11月30日	PARM-1 promotes cardiomyogenic differentiation through regulating the BMP/Smad signaling pathway.	Nakanishi Naohiko	循環器内科
Free Radical Biology and Medicine 53巻9号、2012年11月1日	NOX1/NADPH oxidase is involved in endotoxin-induced cardiomyocyte toxicity	Matsuno Kuniharu	循環器内科
Heart and Vessels 27巻6号、2012年11月	Primary percutaneous coronary intervention and intravascular ultrasound imaging for coronary thrombosis after cisplatin-based chemotherapy.	Ito Daisuke	循環器内科
International Journal of Cardiovascular Imaging 28巻7号、2012年10月	Myocardial perfusion abnormality in the area of ventricular septum-free wall junction and cardiovascular events in nonobstructive hypertrophic cardiomyopathy.	Kaimoto Satoshi	循環器内科
Clinical and Experimental Hypertension 34巻6号、2012年10月	Long-Term Antihypertensive Efficacy of Losartan/Hydrochlorothiazide Combination Therapy on Home Blood Pressure Control.	Miyagawa Sonoko	循環器内科
Biochemistry and Biophysics Research Communications 426巻3号、2012年9月28日	NFAT5 regulates the canonical Wnt pathway and is required for cardiomyogenic differentiation.	Adachi Atsuo	循環器内科
Biochemistry and Biophysics Research Communications 425巻1号、2012年8月17日	Macrophages play a unique role in the plaque calcification by enhancing the osteogenic signals exerted by vascular smooth muscle cells	Ikeda Koji	循環器内科

小計

9

雑 誌 名	題 名	発 表 者 氏 名	所 属 部 門
Journal of International Medical Reserch 40巻4号、2012年8月	Switching to an L/N-type Calcium Channel Blocker Shows Renoprotective Effects in Patients with Chronic Kidney Disease: the Kyoto Cilnidipine Study.	Hatta Tsuguru	循環器内科
Journal of Cardiology 60巻2号、2012年8月	Prognostic impact of systolic blood pressure at admission on in-hospital outcome after primary percutaneous coronary intervention for acute myocardial infarction.	Shiraishi Jun	循環器内科
BMC Nephrology 第14巻1号2013年1月16日	Prognostic utility of plasma S100A12 levels to establish a novel scoring system for predicting mortality in maintenance hemodialysis patients: a two-year prospective observational study in Japan.	Shiotsu Yayoi	腎臓内科
Clinical and Experimental Nephrology 第16巻6号2012年12月	Renal disease in the elderly and the very elderly Japanese: analysis of the Japan Renal Biopsy Registry (J-RBR)	Yokoyama Hitoshi	腎臓内科
Clinical Nephrology 第16巻6号2012年12月	Association of a novel in-frame deletion mutation of the MYH9 gene with end-stage renal failure: case report and review of the literature.	Ishida Mami	腎臓内科
腎と透析 73巻別冊（腹膜透析）2012年8月	巨大な僧帽弁輪石灰化をきたした腹膜透析患者の1例	石田真美	腎臓内科
Diabet. Med. 29: 1036-1042, 2012.	Andropausal symptoms in men with Type 2 diabetes.	Michiaki Fukui	内分泌・糖尿病・代謝内科
Metabolism 61: 1021-1025, 2012.	The serum concentration of allograft inflammatory factor-1 is correlated with metabolic parameters in healthy subjects.	Michiaki Fukui	内分泌・糖尿病・代謝内科
Diabetes Care 35: 163-167, 2012.	High plasma 5-hydroxyindole-3-acetic acid concentrations in subjects with metabolic syndrome.	Michiaki Fukui	内分泌・糖尿病・代謝内科
Hypertens. Res. 35: 745-749, 2012.	Toe-brachial index is associated more strongly with albuminuria or glomerular filtration rate than ankle-brachial index in patients with type 2 diabetes.	Michiaki Fukui	内分泌・糖尿病・代謝内科

小計

10

雑 誌 名	題 名	発 表 者 氏 名	所 属 部 門
Diabetes Res. Clin. Pract. 97: 146-150, 2012.	Serum allograft inflammatory factor-1 is a novel marker for diabetic nephropathy.	Michiaki Fukui	内分泌・糖尿病・代謝内科
Hypertens. Res. 35: 1176-1179, 2012.	Low daily salt intake is correlated with albuminuria in patients with type 2 diabetes.	Michiaki Fukui	内分泌・糖尿病・代謝内科
Clin. Nephrol. 78: 129-134, 2012.	Second measurement of morning systolic blood pressure is more closely associated with albuminuria.	Michiaki Fukui	内分泌・糖尿病・代謝内科
Nutrition 28: 418-421, 2012.	Pepsinogen I/II ratio is related to glucose, triacylglycerol, and uric acid levels.	Muhei Tanaka	内分泌・糖尿病・代謝内科
Hypertens. Res. 35: 325-328, 2012.	Eosinophil count is positively correlated with coronary artery calcification.	Muhei Tanaka	内分泌・糖尿病・代謝内科
Am J Hematol. 87: 116-119, 2012.	ADAMTS-13 activity can predict the outcome of disseminated intravascular coagulation in hematologic malignancies treated with recombinant human soluble thrombomodulin.	Ohshiro M	血液・腫瘍内科
Int J Hematol. 95: 516-526, 2012.	Monosomy 13 in metaphase spreads is a predictor of poor-term outcome after bortezomib plus dexamethasone treatment for relapsed/refractory multiple myeloma.	Kiyota M	血液・腫瘍内科
Genes Chromosomes Cancer. 51:42-53, 2012.	Establishment of a novel human myeloid leukemia cell line, AMU-AML1, carrying t(12;22)(p13;q11) without chimeric MN1-TEL and with high expression of MN1.	Gotou M	血液・腫瘍内科
Acta Haematol. 127:10-15, 2012.	Successful treatment of chemotherapy-refractory angioimmunoblastic T cell lymphoma with cyclosporin A.	Kobayashi T	血液・腫瘍内科
Jpn J Clin Oncol. 42:1035-1042, 2012.	Double-hit Lymphomas Constitute a Highly Aggressive Subgroup in Diffuse Large B-cell Lymphomas in the Era of Rituximab.	Kobayashi T	血液・腫瘍内科

小計

10

雑 誌 名	題 名	発 表 者 氏 名	所 属 部 門
Cancer Sci. 103 : 782-790, 2012.	Overexpression of the DNA sensor proteins, absent in melanoma and interferon-inducible 16, contributes to tumorigenesis of oral squamous cell carcinoma with p53 inactivation.	Kondo Y	血液・腫瘍内科
Cancer Ther. 11 : 2600-2609, 2012.	RSK2Ser227 at N-Terminal Kinase Domain Is a Potential Therapeutic Target for Multiple Myeloma.	Shimura Y	血液・腫瘍内科
Blood . 119 : 2837-2843, 2012.	Retrospective analysis of prognostic factors for angioimmunoblastic T-cell lymphoma: a multicenter cooperative study in Japan. Blood.	Tokunaga T	血液・腫瘍内科
Cancer Res. 72:4954-4962, 2012.	Frequent PVT1 Rearrangement and Novel Chimeric Genes PVT1-NBEA and PVT1-WWOX Occur in Multiple Myeloma with 8q24 Abnormality.	Nagoshi H	血液・腫瘍内科
Cancer Genet. 205:459-464, 2012.	Comprehensive cytogenetic study of primary cutaneous gamma-delta T-cell lymphoma by means of spectral karyotyping and genome-wide single nucleotide polymorphism array.	Yamamoto-Sugitani I	血液・腫瘍内科
Histopathology. 61 : 1183-1197, 2012.	Plasmablastic lymphoma of the elderly: a clinicopathological comparison with age-related Epstein-Barr virus-associated B cell lymphoproliferative disorder.	Liu F	血液・腫瘍内科
Internal Medicine 51 : p217-21, 2012.	Chronic Inflammatory Demyelinating Polyneuropathy Due to the Administration of pegylated Interferon α -2b : A Neuropathology Report.	Kensuke Shiga	神経内科
Journal of Peripheral Nerve System 17 : 206-209. 2012.	A novel EGR2 mutation within a family with a mild demyelinating form of Charcot-Marie-Tooth disease.	Kensuke Shiga	神経内科
Internal Medicine 51 : 2307-2312, 2012.	Demyelinating features in sensory nerve conduction in Fisher syndrome.	Kensuke Shiga	神経内科

小計

雑 誌 名	題 名	発 表 者 氏 名	所 属 部 門
Neuropathology 32 ; 440-446. 2012.	Clinical aspects and pathology of Alexander disease, and morphological and functional alteration of astrocyte induced by GFAP mutation.	Tomokatsu Yoshida	神経内科
Biochemistry Biophysiology Reserch Communication 422 : 375-380, 2012.	Utilization of a multiple antigenic peptide as a calibration standard in the BAN50 single antibody sandwich ELISA for A β oligomers.	Takashi Kasai	神経内科
Experimental Neurology. 233 : p303-311, 2012.	Transendocytosis is impaired in CADASIL-mutant NOTCH3.	Akiko Watanabe	神経内科
Clinical Neurology and Neurosurgery 114 : 1086-1087, 2012.	Mollaret cells detected in a patient with varicella-zoster virus meningitis.	Takuma Omichi	神経内科
PLoS One 7 : e39483, 2012.	Knockdown of the Drosophila fused in sarcoma (FUS) homologue causes deficient locomotive behavior and shortening of motoneuron terminal branches.	Hiroshi Sasayama	神経内科
Annals of SURGICAL ONCOLOGY 2012 Aug; 19(8)	Nodal counts on MDCT as a surrogate marker for surgical curability in gastric cancer.	Tsutomu Kawaguchi	消化器外科
Anticancer Research 2012 Apr; 32(4)	Factors resulting in 5-year disease-free survival after resection of hepatocellular carcinoma.	Toshia Ochiai	消化器外科
Anticancer Research 2012 Dec; 32(12)	Staging Fluorescence Laparoscopy for Gastric Cancer by Using 5-Aminolevulinic Acid.	Yasutoshi Murayama	消化器外科
Anticancer Research 2013 Jan; 33(1)	Prognostic impact of circulating miR-21 in the plasma of patients with gastric carcinoma.	Shuhei Komatsu	消化器外科

小計

雑 誌 名	題 名	発 表 者 氏 名	所 属 部 門
Anticancer Research 2013 Feb; 33(2)	Anit-phosphohistone H3 as an independent prognostic factor in human esophageal squamous cell carcinoma.	Shingo Nakashima	消化器外科
British Journal of Cancer 2013 Feb 5; 108(2)	Clinical impact of circulating miR-221 in plasma of patients with pancreatic cancer.	Tsutomu Kawaguchi	消化器外科
Case Reports in Gastroenterology 2012 Sep-Dec; 6(3)	Incidentally discovered adenocarcinoma in situ of the appendix in a young woman.	Noriaki Koizumi	消化器外科
Esophagus 2012 Jun; 9(2)	Erratum to: Double primary cancer of the esophagus consisting of ectopic gastric mucosa-derived adenocarcinoma and squamous cell carcinoma: a first case report	Daisuke Ichikawa	消化器外科
Esophagus 2012 Dec; 9(4)	Intrathoracic supercharge technique for esophageal reconstruction using colon interposition via a retrosternal route	Hitoshi Hino	消化器外科
Esophagus 2012 Dec; 9(4)	Hand-assisted laparoscopic transhiatal approach for mediastinal esophageal duplication cyst resection	Atsushi Shiozaki	消化器外科
Expert Opinion on Biological Therapy 2012 Jun; 12(s1)	Prognostic impact of circulating miR-21 and miR-375 in plasma of patients with esophageal squamous cell carcinoma.	Shuhei Komatsu	消化器外科
Gastroenterology 2012 May; 142(5)	Circulating microRNA in digestive tract cancers.	Daisuke Ichikawa	消化器外科
Hepato-Gastroenterology 2012 May; 59(115)	Total pancreatectomy for pancreatic carcinoma: evaluation of safety and efficacy.	Maki Kitagawa	消化器外科

小計

9

雑 誌 名	題 名	発 表 者 氏 名	所 属 部 門
Journal of Gastrointestinal Surgery 2012 Nov; 16(11)	Significance of the Inflammation-Based Glasgow Prognostic Score for Short- and Long-Term Outcomes After Curative Resection of Gastric Cancer	Takeshi Kubota	消化器外科
Journal of Gastrointestinal Surgery 2012 Dec; 16(12)	Elastic Rubber Band Migration into the Common Bile Duct After C-tube Drainage.	Toshia Ochiai	消化器外科
Journal of Surgical Oncology 2012 Jun 15; 105(8)	The decision criterion of histological mixed type in "T1/T2" gastric carcinoma—comparison between TNM classification and Japanese classification of gastric cancer.	Hiroki Shimizu	消化器外科
Journal of Surgical Research 2012 Aug; 176(2)	Blockade of chloride ion transport enhances the cytocidal effect of hypotonic solution in gastric cancer cells.	Daisuke Iitaka	消化器外科
Oncology Letters 2012 Apr; 3(4)	Risk factors for postoperative respiratory complications following esophageal cancer resection.	Atsushi Shiozaki	消化器外科
Oncology Reports 2013 Mar; 29(3)	Efficacy of 5-aminolevulinic acid-mediated photodynamic therapy using light-emitting diodes in human colon cancer cells.	Tomoya Hatakeyama	消化器外科
Pancreatology 2012 Sep; 12(5)	Enhancement of the cytocidal effects of hypotonic solution using a chloride channel blocker in pancreatic cancer cells.	Yoshito Nako	消化器外科
PLoS One 2012 May; 7(5)	Claudin 1 mediates TNF α -induced gene expression and cell migration in human lung carcinoma cells.	Atsushi Shiozaki	消化器外科
PLoS One 2012 Aug; 7(8)	XB130 mediates cancer cell proliferation and survival through multiple signaling events downstream of Akt.	Atsushi Shiozaki	消化器外科
Surgery Today 2012Jul; 42(7)	A case of a superficial carcinoma of the esophagus with isolated lymph node metastasis around the abdominal aorta.	Tomoya Hatakeyama	消化器外科

小計

10

雑 誌 名	題 名	発 表 者 氏 名	所 属 部 門
Surgery Today 2012 Nov; 42(11)	Spontaneous rupture of the esophagus with extensive bowel necrosis caused by nonocclusive mesenteric ischemia: report of a case.	Shingo Nakashima	消化器外科
Surgery Today 2013 Feb; 43(2)	Evaluation of lymph node metastasis in patients with gastric cancer: a comparison of the directionality of lymph node metastasis and the total number of metastatic lymph nodes.	Maki Kitagawa	消化器外科
World Journal of Gastroenterology 2012 Jun 14; 18(22)	Progression of remnant gastric cancer is associated with duration of follow-up following distal gastrectomy.	Shuhei Komatsu	消化器外科
癌と化学療法 2012 Nov; 39(12)	メタリックステント留置後の隣頭十二指腸切除症例	生駒 久視	消化器外科
癌と化学療法 2012 Nov; 39(12)	ヒト塩基性線維芽細胞増殖因子を主成分としたTrafermin®(フィブラストスプレー®)を用いた胃癌術後難治性瘻孔の治療	竹本 健一	消化器外科
癌と化学療法 2012 Nov; 39(12)	局所進行直腸癌に対する術前化学放射線療法	栗生 宜明	消化器外科
癌と化学療法 2012 Nov; 39(12)	術前化学療法により根治切除し得た広範な後腹膜浸潤を伴う盲腸癌の1例.	鎌田 陽介	消化器外科
癌と化学療法 2012 Nov; 39(12)	サルコイドーシス合併胃癌の術前進行度診断の問題点	小西 博貴	消化器外科
日本腹部救急医学会雑誌 2012 Sep; 32(6)	ESD時の十二指腸穿孔に対して外科手術を行ったにもかかわらず、後腹膜膿瘍をきたした治療に難渋した1例.	平島 相治	消化器外科
臨床外科 2012 Nov 20; 67(12)	特集 食道癌・胃癌切除後の再建法を見直す—達人の選択) [基本事項から再建法を見直す]各種デバイスの特性.	市川 大輔	消化器外科
胸部外科学会 第65巻第8号: 611-614	特集: 合併症を有する胸部外科手術 低心機能合併例に対する心臓外科手術	土井 潔	心臓血管外科
Journal of Thoracic Cardiovascular Surgery. 145(4):1139-40, 2013	The OIDE hook: a retractor for video-assisted thoracic surgery	Junichi Shimada	呼吸器外科

小計
12

雑 誌 名	題 名	発 表 者 氏 名	所 属 部 門
International Journal of Oncology. 40(4): 995-1004, 2012.	Drug resistance to paclitaxel is not only associated with ABCB1 mRNA expression but also with drug accumulation in intracellular compartments in human lung cancer cell lines	Masanori Shimomura	呼吸器外科
Journal of Telemedicine and Telecare. 18(8): 465-469, 2012.	Interactive multicenter teleconferences using open source software in a team of thoracic surgeons	kazuhiro Ito	呼吸器外科
日本呼吸器外科学会雑誌 26巻4号401-404 2012	腹腔鏡下子宮筋腫術後に発症した Benign Metastasizing Leiomyomaの1例	常塚啓彰	呼吸器外科
癌と化学療法 2012年6月第39巻第6号 (876-881)	術前化学療法の新展開 乳癌	田口哲也	内分泌・乳腺外科
癌と化学療法 2012年7月第39巻第7号 (1081-5)	転移再発乳癌9例に対する Nab-Paclitaxel の治療経験	阪口晃一	内分泌・乳腺外科
癌と化学療法 2012年11月第39巻第11号 (1699-702)	ラパチニブ・カペシタビン併用療法が奏功した多発脳転移を伴ったHER2陽性乳癌の1例	藤田佳史	内分泌・乳腺外科
Cancer Chemother Pharmacol 2013 Mar;71(3):741-7	Low dose capecitabine plus weekly paclitaxel in patients with metastatic breast cancer :a multicenter phase II study KBCSG-0609	Taguchi T.	内分泌・乳腺外科
乳癌の臨床 Vol. 27 No. 5:2012. 10. 31 (567-577)	乳癌薬物療法における支持療法④ 手足症候群	田口哲也	内分泌・乳腺外科
日本臨床 2012年9月20日70巻増刊号7 (649-653)	乳房再建自家組織による同時乳房形成	阪口晃一	内分泌・乳腺外科
Microsurgery 2012 May;32(4):318-21.	Successful retrograde arterial inflow through a muscular branch in a free anterolateral thigh chimeric flap transfer.	Numajiri Toshiaki	形成外科
Microsurgery 2013 Mar;33(3):169-72.	Does a vascular supercharge improve the clinical outcome for free jejunal transfer?	Numajiri Toshiaki	形成外科
Stem Cells and Development 2012 Jul 20, 21(11):1852-62	Adipose-derived stem cells produce factors enhancing peripheral nerve regeneration: influence of age and anatomic site of origin.	Sowa Yoshihiro	形成外科
Prog Neurol Surg. 2012;25:148-155	Treatment of brain metastasis from lung cancer	Takuya Kawabe	脳神経外科

小計

13

雑 誌 名	題 名	発 表 者 氏 名	所 属 部 門
J Neurosurg. 2012;117 (Suppl):23-30	Gamma Knife surgery for patients with brainstem metastases	Takuya Kawabe	脳神経外科
Blood Coagulation and Fibrinolysis 23: 456-458, 2012	A surgical case of cerebral hemorrhage in a patient with factor XI deficiency	Yukihiro Goto	脳神経外科
Journal of Orthopaedic Research	Combined microwave irradiation and intraarticular glutamine administration-induced HSP70 expression therapy prevents cartilage degradation in a rat osteoarthritis model	Fujita S	整形外科
Journal of Hand Surgery (European Volume	Re-evaluation of stress radiographic findings for preoperative diagnosis of Stener lesion	Fujiwara H	整形外科
Foot & Ankle Internationa	Tarsal Tunnel Syndrome in Hemodialysis Patients - a case series -	Imai K	整形外科
Journal Sports Medicine, Arthroscopy, Rehabilitation, Therapy, Technology	A double patella-like condition secondary to synovial osteochondromatosis	Kajikawa Y	整形外科
Journal of Shoulder and Elbow Surgery	Bone marrow-derived cells from the footprint infiltrate into the repaired rotator cuff	Kida Y	整形外科
Journal of Orthopaedic Science	The fate and role of bone graft-derived cells after autologous tendon and bone transplantation into the bone tunnel	Komiyama H	整形外科
Inflammation	Lansoprazole inhibits nitric oxide and prostaglandin E2 production in murine macrophage RAW 264.7 cells	Nakagawa S	整形外科
Modern Rheumatology	Spontaneous tendon rupture of the extensor digitorum communis in systemic lupus erythematosus	Oishi H	整形外科
Orthopedics	Total knee arthroplasty for neuropathic joint disease after severe bone destruction eroded the tibial tuberosity	Sugitani K	整形外科

小計

11

雑 誌 名	題 名	発 表 者 氏 名	所 属 部 門
Journal of Orthopaedic Science	A case of selective arterial embolization for recurrent hemarthrosis after total knee arthroplasty	Takezawa Y	整形外科
Journal of Orthopaedic Research	Silencing the expression of connexin 43 decreases inflammation and joint destruction in experimental arthritis	Tsuchida S	整形外科
Connective Tissue Research	Immunohistochemical analysis of the effects of estrogen on intra articular neurogenic inflammation in a rat anterior cruciate ligament transection model of osteoarthritis	Yoshida A	整形外科
Int J Gynecol Cancer 22(9):1509-1516, 2012.	Estrogen-related receptor- γ regulates estrogen receptor- α responsiveness in uterine endometrial cancer.	Yamamoto T	産婦人科
J Obstet Gynaecol Res 39(1):341-343, 2013.	Premature delivery due to intrauterine Candida infection that caused neonatal congenital cutaneous candidiasis: A case report.	Ito F	産婦人科
Eur J Cancer	Is the prognosis of stage 4s neuroblastoma in patients 12 months of age and older really excellent ?	Iehara T, et al	小児科
Int J Clin Oncol	Successful treatment of infants with localized neuroblastoma based on their MYCN status.	Iehara T, et al	小児科
Cancer Letter	MYCN-amplified cell line derived from a long-term event-free survivor among our sixteen established neuroblastoma cell lines.	Sugimoto T, et al	小児科
Biochem Biophys Res Commun	All-trans retinoic acid combined with 5-Aza-2'-deoxycytidine induces C/EBP α expression and growth inhibition in MLL-AF9 positive leukemic cells.	Fujiki A, et al	小児科

小計

雑 誌 名	題 名	発 表 者 氏 名	所 属 部 門
J Pediatr Hematol Oncol	Quantitative RT-PCR analysis of the MOZ-CBP fusion transcript in therapy-related acute myeloid leukemia with t(8;16)(p11;p13).	Fujiki A, et al	小児科
Leuk Res	Post-transcriptional modulation of C/EBP α prompts monocytic differentiation and apoptosis in acute myelomonocytic leukaemia cells.	Yoshida H, et al	小児科
Bone Marrow Transplant	Allo-SCT in a patient with CRMCC with aplastic anemia using a reduced intensity conditioning regimen	Asai D, et al	小児科
Bone Marrow Transplant	Dermatomyositis developed in a recipient of allogeneic BMT	Sakamoto K, et al	小児科
Pediatr Int	Fatal varicella with multi-organ failure associated with low-dose ACTH therapy.	Cjiyonobu T, et al	小児科
Br J Haematol	Outcome in 146 patients with paediatric acute myeloid leukaemia treated according to the AML99 protocol in the period 2003-06 from the Japan Association of Childhood Leukemia Study.	Imamura T, et al	小児科
Mol Neurobiol	The shortest isoform of dystrophin (Dp40) interacts with a group of presynaptic proteins to form a presumptive novel complex in the mouse brain.	Tozawa T, et al	小児科
Current Topics in Biochemical Research. 2012 Dec;14(2):17-24	Exogenous apelin ameliorates renal fibrosis in obstructive nephropathy.	Masashi Nishida	小児循環器・腎臓科
Clinical and Experimental Immunology 171(3)	Thymic stromal lymphopoietin expression is increased in the horny layer of patients with atopic dermatitis.	Masuda K	皮膚科
The American Journal of Pathology 181(6)	Topical simvastatin accelerates wound healing in diabetes by enhancing angiogenesis and lymphangiogenesis.	Asai J	皮膚科

小計

10

雑 誌 名	題 名	発 表 者 氏 名	所 属 部 門
International Wound Journal 2012 Jun 28[Epub ahead of print]	Topical application of ex vivo expanded endothelial progenitor cells promotes vascularisation and wound healing in diabetic mice.	Asai J	皮膚科
Clinical and Experimental Immunology 168(3)	Increased plasma LIGHT levels in patients with atopic dermatitis.	Kotani H	皮膚科
Neuroscience Research 72(1)	Acupuncture of the sacral vertebrae suppresses bladder activity and bladder activity-related neurons in the brainstem micturition center.	Kawauchi A	泌尿器科
Journal of Urology 187(6)	Expression and Role of HMGA1 in Renal Cell Carcinoma.	Miki T.	泌尿器科
Ultrasound in Medicine & Biology 38(8)	Measurement of Postvoid Residual Urine in Conscious Mice Using High-Frequency Transrectal Ultrasound.	Kamoi K	泌尿器科
International Journal of Oncology 40(5)	Significant induction of apoptosis in renal cell carcinoma cells transfected with cationic multilamellar liposomes containing the human interferon- β gene through activation of the intracellular type 1 interferon signal pathway.	Hongo F	泌尿器科
International Journal of Oncology 40(5)	The anti-obesity drug orlistat promotes sensitivity to TRAIL by two different pathways in hormone-refractory prostate cancer cells.	Miki T	泌尿器科
The Prostate 72(10)	High mobility group protein AT-hook 1 (HMGA1) is associated with the development of androgen independence in prostate cancer cells.	Okihara K	泌尿器科
Journal of Endourology 26(6)	Surgical and oncologic outcomes of laparoscopic partial nephrectomy: a Japanese multi-institutional study of 1375 patients.	Kawauchi A	泌尿器科
Surgical Endoscopy 26(6)	Evaluation of 2,590 urological laparoscopic surgeries undertaken by urological surgeons accredited by an endoscopic surgical skill qualification system in urological laparoscopy in Japan.	Miki T	泌尿器科

小計

10

雑 誌 名	題 名	発 表 者 氏 名	所 属 部 門
Nature Medicine 18(8)	Multipeptide immune response to cancer vaccine IMA901 after single-dose cyclophosphamide associates with longer patient survival.	Miki T	泌尿器科
Brachytherapy. 11(4)	Quantitative evaluation of lower urinary tract symptoms using a visual analog scale in men undergoing permanent brachytherapy	Okihara K	泌尿器科
JournsI of Urology 188(5)	Health related quality of life for monosymptomatic enuretic children and their mothers	Naitoh Y	泌尿器科
Cancer Research 72(22)	DDX31 regulates the p53-HDM2 pathway and rRNA gene transcription through its interaction with NPM1 in renal cell carcinomas	Miki T	泌尿器科
Recent Advances in Endourology15	LESS : Tip and Tricks.	Kawauchi A	泌尿器科
Molecular Cell. 45(4)	Epigenetic silencing of core histone genes by HERS in Drosophila	Ito S	泌尿器科
Proc Natl Acad Sci U S A. 2012 Jun 5;109(23):9191-6.	Computational model of a circulation current that controls electrochemical properties in the mammalian cochlea.	Nin F, et al	耳鼻咽喉科・頭頸部外科
J Allergy Clin Immunol. 2012 Jul;130(1):184-94. e11.	A critical role of IL-33 in experimental allergic rhinitis.	Haenuki Y, et al .	耳鼻咽喉科・頭頸部外科
Microsurgery. 2012 May;32(4):318-21.	Successful retrograde arterial inflow through a muscular branch in a free anterolateral thigh chimeric flap transfer.	Numajiri T, et al.	耳鼻咽喉科・頭頸部外科
Acta Otolaryngol. 2012 Apr;132(4):439-46.	Localization and regulation of aquaporins in the murine larynx.	Ahmed Mel-R, et al.	耳鼻咽喉科・頭頸部外科
Head Neck. 2012 May;34(5):674-80.	Prognostic significance of RB1-inducible coiled-coil 1 in salivary gland cancers.	Tameno H, et al.	耳鼻咽喉科・頭頸部外科

小計

11

雑 誌 名	題 名	発 表 者 氏 名	所 属 部 門
Progress in Neuro- psychopharmacology & Biological Psychiatry 37(1):22-25, 2012 Apr.	The neural basis of dysfunctional beliefs in non-medicated patients with obsessive-compulsive disorder.	Nakamae T	精神科・心療内 科
Progress in Neuro- psychopharmacology & Biological Psychiatry 37(1):90-95, 2012 Apr.	Reduced cortical thickness in non- medicated patients with obsessive- compulsive disorder.	Nakamae T	精神科・心療内 科
Evidence-based Complementary and Alternative Medicine (eCAM):5, 2012 May.	Effect of toki-shakuyaku-san on regional cerebral blood flow of patients with mild cognitive impairment and Alzheimer's disease.	Matsuoka T	精神科・心療内 科
Neuropsychiatric Disease and Treatment 8:549-553, 2012 Nov.	Usefulness of milnacipran in treating phantom limb pain.	Nagoshi Y	精神科・心療内 科
Neuropsychiatric Disease and Treatment 8:579-583, 2012 Des.	Relationship between severity of obsessive-compulsive symptoms and schizotypy in obsessive-compulsive disorder.	Yamamoto H	精神科・心療内 科
Psychogeriatrics 12:242-247, 2012 Des.	Neuropsychological and functional correlates of clock-drawing test in elderly institutionalized patients with schizophrenia.	Okamura A	精神科・心療内 科
Journal of Neuroscience Research 91(1):42-50, 2013 Jan.	Downregulation of L1 perturbs neuronal migration and alters the expression of transcription factors in murine neocortex.	Tomokazu K	精神科・心療内 科
臨床精神薬理15(6): 961-976, 2012 6月.	身体表現性障害に対するSSRIの有用性 について(第3報)-Fluvoxamineと Paroxetineの切り替え例の検討-	名越泰秀	精神科・心療内 科
臨床精神医学41(9): 1167-1174, 2012 10月.	東日本大震災京都府心のケアチーム活 動報告-福島県避難者の現状に合わせ た支援を模索して-	崔 炯仁	精神科・心療内 科
NMR Biomed 25: 340-346	Calculation methods for ventricular diffusion-weighted imaging thermometry: phantom and volunteer studies	Yamada K	放射線科
Eur Radiol 22: 1255- 1264	The role of breast MR imaging in pre-operative determination of invasive disease for ductal carcinoma in situ diagnosed by needle biopsy	Goto M	放射線科
Prog Neuropsychopharmacol Biol Psychiatry 37: 90-95	Reduced cortical thickness in non- medicated patients with obsessive- compulsive disorder	Yamada K	放射線科

小計

12

雑 誌 名	題 名	発 表 者 氏 名	所 属 部 門
Prog Neuropsychopharmacol Biol Psychiatry 37: 22 -25,	The neural basis of dysfunctional beliefs in non-medicated patients with obsessive-compulsive disorder	Yamada K	放射線科
Ann Nucl Med 26: 462- 470	New semi-quantitative 123I-MIBG estimation method compared with scoring system in follow-up of advanced neuroblastoma: utility of total MIBG retention ratio versus scoring method	Okuyama C	放射線科
Exp Ther Med 4:273-276	Anti-IL-6 receptor antibody does not ameliorate radiation pneumonia in mice	Yamazaki H	放射線科
Radiat Res 53:791-7	Comparison of dose-volume analysis between standard Manchester plan and magnetic resonance image-based plan of intracavitary brachytherapy for uterine cervical cancer	Yamazaki H	放射線科
J Radiat Res 53:722-6	Dose reduction trial from 60 Gy in 10 fractions to 54 Gy in 9 fractions schedule in high-dose- rate interstitial brachytherapy for early oral tongue cancer	Yamazaki H	放射線科
Jpn J Radiol 30:486-91	Assessment of radiation dermatitis using objective analysis for patients with breast cancer treated with breast-conserving therapy: influence of body weight	Yamazaki H	放射線科
J Radiat Res 53:469-74	Assessment of daily needle applicator displacement during high-dose-rate interstitial brachytherapy for prostate cancer using daily CT examinations	Yamazaki H	放射線科
Clin Nucl Med 37:264-7	Utility of additional delayed post- therapeutic 131 I whole-body scanning in patients with thyroid cancer	Kodani N	放射線科
Brachytherapy 11:265- 70	Quantitative evaluation of lower urinary tract symptoms using a visual analog scale in men undergoing permanent brachytherapy	Kobayashi K	放射線科
Br J Radiol 85(1011):208-13	Comparison of fully automated and semi-automated biopsy needles for lung biopsy under CT fluoroscopic guidance	Yoshimatsu R	放射線科

小計

10

雑 誌 名	題 名	発 表 者 氏 名	所 属 部 門
Korean Journal of Radiology 13(3):324-31	Development of thrombus in a systemic vein after balloon-occluded retrograde transvenous obliteration of gastric varices	Yoshimatsu R	放射線科
Hepatogastroenterology 59(115):701-4	Percutaneous drainage with a one-Step technique under real-time computed tomography fluoroscopic guidance	Yamagami T	放射線科
Annals of Vascular Diseases 5: 213-216	Congenital Systemic-Pulmonary Collateral Vein Unexpectedly Noticed After Central Venous Catheter Insertion	Miura H	放射線科
J Vasc Interv Radiol 23(9):1207-12	Hemodynamic changes after balloon occlusion of the splenic artery during balloon-occluded retrograde transvenous obliteration for gastric varices	Yoshimatsu R	放射線科
Circ J 76: 168-175	Cardiac event risk in a Japanese population estimated by gated myocardial perfusion imaging, diabetes mellitus and chronic kidney disease	Okuyama C	放射線科
Cerebrovasc Dis 33: 128-164	Simultaneous impairment of intracranial and peripheral artery vasoreactivity in CADASIL patients	Okuyama C	放射線科
日本小児血液・がん学会雑誌49: 516-521	治療効果判定に18F-FDG-PET/CTが有用であった123I-MIBGシンチグラフィ低集積進行神経芽腫の一例	奥山 智緒	放射線科
臨床放射線 57: 937-940,	子宮頸部の胎児型横紋筋肉腫botryoid variantの1例	西田 香織	放射線科
断層映像研究会雑誌37: 1-6	急性腸疾患のリンパ節腫大について	田添 潤	放射線科
日本小児循環器学会雑誌第28巻第6号	右室流出路再建 —Fan-shaped ePTFE valve とbulging sinus付き ePTFE conduitの有用性—	山本 裕介	小児心臓血管外科
Archives of Oral Biology. 58(7):880-886, 2013 Feb 26.	β -cryptoxanthin regulates bone resorption related-cytokine production in human periodontal ligament cells.	Nishigaki M	歯科
日本歯科医学会雑誌. 32: 44-48, 2013年3月31日.	ヒト羊膜を用いた新たな歯周組織再生法の開発	雨宮 傑	歯科

小計

12

雑 誌 名	題 名	発 表 者 氏 名	所 属 部 門
Anticancer Research 32: 4405-4412, 2012	Dermokine expression in intraductal papillary-mucinous neoplasm and invasive pancreatic carcinoma.	Yanagisawa A.	病院病理部
Case Reports in Gastroenterology 6: 635-642, 2012	Surgical procedure for sporadic colorectal cancer in patients with mild ulcerative colitis.	Yasukawa S.	病院病理部
European Radiology 22: 1255-1264, 2012	The role of breast MR imaging in pre-operative determination of invasive disease for ductal carcinoma in situ diagnosed by needle biopsy.	Konishi E.	病院病理部
Head & Neck 34: 674-680, 2012	Prognostic significance of RB1-inducible coiled-coil 1 in salivary gland cancers.	Kishimoto M.	病院病理部
Internal Medicine 51: 2739-43, 2012	Toxic Megacolon associated with cytomegalovirus infection in a Patient with steroid-naive ulcerative colitis.	Yanagisawa A.	病院病理部
J Surgical Oncology 105: 800-804, 2012	The decision criterion of histological mixed type in "T1/T2" gastric carcinoma-comparison between TNM classification and Japanese Classification of Gastric Cancer.	Yanagisawa A.	病院病理部
Medical Science Monitor 18: CS77-81, 2012	Chondrosarcoma from the sternum: Reconstruction with titanium mesh and a transverse rectus abdominis myocutaneous flap after subtotal sternal excision.	Konishi E.	病院病理部
Pancreas 41: 985-992, 2012	Japan Pancreatic Cancer Registry; 30th Year Anniversary (japan pancreas society).	Yanagisawa A.	病院病理部
Anticancer Research 33: 461-467, 2013	Anti-phosphohistone H3 as an independent prognostic factor in human esophageal squamous cell carcinoma.	Kishimoto M.	病院病理部
Magnetic Resonance in Medical Sciences 12: 39-45, 2013	Effect of the Menstrual Cycle on Background Parenchymal Enhancement in Breast MR Imaging.	Konishi E.	病院病理部
Cancer Research 72: 4954-4962, 2012	Frequent PVT1 rearrangement and novel chimeric genes PVT1-NBEA and PVT1-WWOX occur in multiple myeloma with 8q24 abnormality.	Hisao Nagoshi	遺伝子診療部

小計

11

雑 誌 名	題 名	発 表 者 氏 名	所 属 部 門
International Journal of Hematology 96; 2012 Sep 11	Primary intraocular large B cell lymphoma with plasmacytic differentiation	Inaba T, et al.	臨床検査部
American Journal Pathology 181(7) : 268-277, 2012.	ROCK inhibitor converts corneal endothelial cells into a phenotype capable of regenerating in vivo endothelial tissue.	Naoki Okumura	眼科
Journal Allergy Clinical Immunology 129 (5) : 1413-1416, 2012.	Epistatic interaction between Toll-like receptor 3 (TLR3) and prostaglandin E receptor 3 (PTGER3) genes.	Mayumi Ueta	眼科
PLoS One 7 (3) : e33389, 2012.	Common variants in CDKN2B-AS1 associated with optic-nerve vulnerability of glaucoma identified by genome-wide association studies in Japanese.	Yoko Ikeda	眼科
PLoS One 7 (8) : e43650, 2012.	HLA-A*0206 with TLR3 polymorphisms exerts more than additive effects in Stevens-Johnson syndrome with severe ocular surface complications.	Mayumi Ueta	眼科
Investigative Ophthalmology Visual Science 53 (7) : 3827-3833, 2012.	Simultaneous analysis of multiple cytokines in the vitreous of patients with sarcoid uveitis.	Kenji Nagata	眼科
Investigative Ophthalmology Visual Science 53 (11) : 6955-6963, 2012.	Epithelial-mesenchymal transition-like phenotypic changes of retinal pigment epithelium induced by TGF β are prevented by PPAR γ agonists.	Hiroki Hatanaka	眼科
Molecular Vision 18 : 2954-2960, 2012.	A novel mutation (p.Glu1389AspfsX16) of the phosphoinositide kinase, FYVE finger containing gene found in a Japanese patient with fleck corneal dystrophy.	Satoshi Kawasaki	眼科
Ophthalmology 119 (8) : 1621-1927, 2012.	Subfoveal choroidal thickness after ranibizumab therapy for neovascular age-related macular degeneration: 12-month results.	Hideki Koziuni	眼科
Ophthalmology 119 (8) : 1650-7, 2012.	Fundus autofluorescence in polypoidal choroidal vasculopathy.	Tetsuya Yamagishi	眼科
Ophthalmology 119 (12) : 2471-2478, 2012	Rebamipide Ophthalmic Suspension Phase II Study Group. Rebamipide (OPC-12759) in the treatment of dry eye: A randomized, double-masked, multicenter, placebo-controlled Phase II study.	Shigeru Kionoshita	眼科

小計

11

雑 誌 名	題 名	発 表 者 氏 名	所 属 部 門
Archive Ophthalmology 130 (2) : 249-251, 2012.	Downregulation of monocyte chemoattractant protein 1 expression by prostaglandin e2 in human ocular surface epithelium.	Mayumi Ueta	眼科
Retina 32 (7) : 1237- 1242, 2012.	Choroidal thickness in inferior staphyloma associated with posterior serous retinal detachment.	Tetsuya Yamagishi	眼科
Cornea. 31(1) : 57-62, 2012.	Epistatic interactions associated with Stevens-Johnson syndrome	Mayumi Ueta	眼科
Cornea 32 (1) : 76-80, 2012.	A study of host corneal endothelial cells after non-Descemet stripping automated endothelial keratoplasty.	Hiroki Hatanaka	眼科
Cornea 31(11) : 1294- 1298, 2012.	Prostaglandin E2 suppresses Poly I: C-stimulated cytokine production via EP2 and EP3 in immortalized human corneal epithelial cells.	Mayumi Ueta	眼科
Eye Contact Lens 38 (5) : 336-340, 2012.	Two presentations of upper lid migration of rigid gas-permeable contact lenses.	Akihide Watanabe	眼科
Japanese Journal Ophthalmology 57 (2) : 206-210, 2012.	Impact of high myopia and duration of hard contact lens wear on the progression of ptosis.	Akihide Watanabe	眼科
BMJ Open 2(5) e001330, 2012.	Expression of prostaglandin E receptor subtype EP4 in conjunctival epithelium of patients with ocular surface disorders: case-control study.	Mayumi Ueta	眼科
日本眼科学会雑誌 116 (4) : 374-378, 2012.	羊膜移植の適応と効果.	外園千恵	眼科
日本眼科学会雑誌 116 (6) : 581-587, 2012.	眼合併症を伴う日本人Stevens-Johnson 症候群の HLA class I 解析.	上田真由美	眼科
日本眼科学会雑誌 116 (9) : 862-868, 2012	瞬目高速解析装置を用いた瞬目の加齢 性変化の検討.	木村直子	眼科
日本眼科学会雑誌 116 (12) : 1137-1143, 2012.	Tear film breakup time (BUT) 短縮型 ドライアイの臨床的特徴.	横井則彦	眼科

小計
12

雑 誌 名	題 名	発 表 者 氏 名	所 属 部 門
あたらしい眼科 29 (6) : 840-843, 2012	3種の緑内障視野進行判定プログラムの 比 較 検 討	吉川晴菜	眼科
眼科 54 (9) : 1197- 1201, 2012.	眼瞼下垂手術前後における自発性瞬目 の 定 量 的 評 価	渡辺彰英	眼科
World J Gastroenterol 18: 1926-1932, 2012.	Factors Associated with the Overall Survival of Elderly Patients with Hepatocellular Carcinoma.	Fujii H.	消化器内科
BMC Gastroenterol 12: 2, 2012.	Validation of the FIB4 index in a Japanese nonalcoholic fatty liver disease population.	Sumida Y.	消化器内科
Free Radical Res 46: 758-765, 2012.	Fatty liver induced by free radicals and lipid peroxidation.	Morita M.	消化器内科
Hepatol Res 42: 966- 973, 2012.	Treatment Extension May Benefit Female Genotype 1 Chronic Hepatitis C Patients with Complete Early Virological Response to Peginterferon alpha-2b and Ribavirin Combination Therapy.	Nishimura T.	消化器内科
BMC Medical Genetics 13: 47, 2012.	No association for Chinese HBV- related hepatocellular carcinoma suscepti- bility SNP in other East Asian populations.	Sawai H.	消化器内科
Mol Med Report 6: 259- 264, 2012.	Difference in serum complement C4a levels between hepoatitis C virus carriers with persistently normal alanine aminotransferase levels or chronic hepatitis C.	Imakiire K,	消化器内科
PLoS ONE 7(6): e39175, 2012.	Genome-wide association study confirming association of HLA-DP with protection against chronic hepatitis B and viral clearance in Japanese and Korean.	Nishida N	消化器内科
J Gastroenterol Hepatol Res 21: 315- 319, 2012.	Age is a negative, and visceral fat accumulation is a positive, contributor to hepatic steatosis, regardless of fibrosis progression in non-alcoholic fatty liver disease.	Nakajima T	消化器内科
Clin J Gastroenterol 5: 261-267, 2012.	Adenoendocrine cell carcinoma of the gallbladder producing a high level of alpha-fetoprotein.	Fujii H.	消化器内科

小計

11

雑 誌 名	題 名	発 表 者 氏 名	所 属 部 門
Hepatol Res 2012 Sep 14(online)	Prediction of a favorable clinical course in hepatitis C virus carriers with persistently normal serum alanine aminotransferase levels: a long-term follow-up study.	Nishimura T.	消化器内科
J Gastroenterol 2012 Nov 27(online)	Japan Study Group of Nonalcoholic fatty liver disease (JSG-NAFLD). Noninvasive scoring system in patients with nonalcoholic fatty liver disease with normal alanine aminotransferase levels.	Yoneda M.	消化器内科
Digestion 86:161-170, 2012.	Recognition of endoscopic diagnosis in differentiated type early gastric cancer by flexible spectral imaging color enhancement with indigo carmine.	Dohi O.	消化器内科
Am J Physiol Gastrointest Liver Physiol 303:G927-936, 2012.	Acetyl salicylic acid induces damage to intestinal epithelial cells by oxidation-related modifications of ZO-1.	Fukui A.	消化器内科
J Gastroenterol 48:897-909, 2013	Oligosaccharides from agar inhibit murine intestinal inflammation through the induction of heme oxygenase-1 expression.	Higashimura Y.	消化器内科
Intern Med 51:2739-2743, 2012.	Toxic megacolon associated with cytomegalovirus infection in a patient with steroid-naive ulcerative colitis.	Inoue K.	消化器内科
Int J Hyperthermia 28:597-604, 2012.	Phase II trial of combined regional hyperthermia and gemcitabine for locally advanced or metastatic pancreatic cancer.	Ishikawa T.	消化器内科
Glin Biochem 45:207-211, 2012.	Relationship between circulating cytokine levels and physical or psychological functioning in patients with advanced cancer.	Ishikawa T.	消化器内科
Dig Endosc 24:243-246, 2012.	Usefulness of a novel observation method using a small-diameter rigid telescope through the gastrostomy catheter at exchange.	Konishi H.	消化器内科
Digestion 86:94-106, 2012.	A questionnaire-based survey on screening for gastric and colorectal cancer by physicians in East Asian countries in 2010.	Naito Y.,.	消化器内科
J Gastroenterol Hepatol 27 Suppl 3:70-75, 2012.	Hemopexin is upregulated in rat intestinal mucosa injured by indomethacin.	Takagi T.	消化器内科

小計
11

雑 誌 名	題 名	発 表 者 氏 名	所 属 部 門
Am J Physiol Gastrointest Liver Physiol 302:G1163-1170, 2012.	Serpin B1 protects colonic epithelial cell via blockage of neutrophil elastase activity and its expression is enhanced in patients with ulcerative colitis.	Uchiyama K.	消化器内科
Translational Medicine On line:2161-1025-S2162- 2004, 2012.	Clinical studies of molecular targeted therapies for inflammatory bowel disease.	Uchiyama K.	消化器内科
Int J Colorectal Dis 27:605-611, 2012.	The detection of surface patterns by flexible spectral imaging color enhancement without magnification for diagnosis of colorectal polyps.	Yoshida N.	消化器内科
J Gastroenterol Hepatol 27:1377-1383, 2012.	Endoscopic mucosal resection with 0.13% hyaluronic acid solution for colorectal polyps less than 20 mm: A randomized controlled trial.	Yoshida N.	消化器内科
World J Gastrointest Pathophysiol 3:51-59, 2012.	Importance of histological evaluation in endoscopic resection of early colorectal cancer.	Yoshida N.	消化器内科
Med Gas Res. 2012 Sep 3:2(1):23 (On line)	Colonic insufflation with carbon monoxide gas inhibits the development of intestinal inflammation in rats.	Takagi T.	消化器内科
Journal of Gastroenterology and Hepatology	Hemopexin is upregulated in rat intestinal mucosa injured by indomethacin.	Takagi T.	消化器内科
Biochimica et Biophysica Acta (BBA) - Molecular Basis of Disease	The combined effect of acetylation and glycation on the chaperone and anti- apoptotic functions of human α - crystallin.	Oya-Ito T	消化器内科
Hepatol Res 42:767-773, 2012.	Clinical and pathological progression of nonalcoholic steatohepatitis to hepatocellular carcinoma.	Yasui K.	消化器内科
Liver Int 33:105-117, 2013.	Alterations of the SWI/SNF chromatin remodelling subunit-BRG1 and BRM in hepatocellular carcinoma.	Endo M.	消化器内科
Int J Oncol 42:411-418, 2013.	Epigenetic silencing of miR-335 and its host gene MEST in hepatocellular carcinoma.	Dohi O.	消化器内科

小計
11
計
243

(注)1

当該医療機関に所属する医師等が、掲載に当たって内容審査を行っている雑誌に研究成果を原著論文として申請の前年度に発表したもののうち、高度の医療技術の開発及び評価に資するものと判断されるものを100件以上記入すること。(当該医療機関に所属する医師等が主たる研究者であるものに限る。)

2 「発表者氏名」欄は、1つの論文発表について発表者が複数いる場合には、主たる発表者の氏名を記入すること。

診療並びに病院の管理及び運営に関する諸記録の管理方法

管理責任者氏名	病院長 福居 顯二
管理担当者氏名	事務部長 荒田 均

		保管場所	管理方法
診療に関する諸記録 病院日誌、各科診療日誌、処方せん、手術記録、看護記録、検査所見記録、エックス線写真、紹介状、退院した患者に係る入院期間中の診療経過の要約及び入院診療計画書		診療情報管理室 各診療科外来 病棟 調剤室 フィルム庫 病院管理課	<ul style="list-style-type: none"> 平成20年1月から電子カルテシステムを導入し、電子データでの管理を行っている。 手術記録、看護記録、検査所見記録、紹介状、退院した患者に係る入院期間中の経過記録の要約等は、カルテに整理して、診療情報管理室に保管。 通院・入院中のアクティブカルテについては、各診療科の外来・病棟で保管。 処方箋は調剤室に、エックス線写真はフィルム庫で保管。
病院の管理及び運営に関する諸記録	従業者数を明らかにする帳簿	総務課	
	高度の医療の実績	病院経営企画室	
	高度の医療技術の開発及び評価の実績	病院管理課	
	高度の医療の研修の実績	病院管理課	
	閲覧実績	病院管理課	
	紹介患者に対する医療提供の実績	病院経営企画室	
	入院患者数、外来患者数及び調剤の数を明らかにする帳簿	病院経営企画室 薬剤部	
項規第一号に掲げる第一項各号の及び第九条の二十三第一	医療に係る安全管理のための指針の整備状況	医療安全管理部	
	医療に係る安全管理のための委員会の開催状況	医療安全管理部	
	医療に係る安全管理のための職員研修の実施状況	医療安全管理部	
	医療機関内における事故報告等の医療に係る安全の確保を目的とした改善のための方策の状況	医療安全管理部	
	専任の医療に係る安全管理を行う者の配置状況	医療安全管理部	
	専任の院内感染対策を行う者の配置状況	感染対策部	
	医療に係る安全管理を行う部門の設置状況	医療安全管理部	
	当該病院内に患者からの安全管理に係る相談に適切に応じる体制の確保状況	医療サービス課	

(様式第12)

		保管場所	管理方法
病院の管理及び運営に関する諸記録	規則第一条の十一第一項各号及び第九条の二十三第一項第一号に掲げる体制の確保の状況	院内感染対策のための指針の策定状況	感染対策部
		院内感染対策のための委員会の開催状況	感染対策部
		従業者に対する院内感染対策のための研修の実施状況	感染対策部
		感染症の発生状況の報告その他の院内感染対策の推進を目的とした改善のための方策の実施状況	感染対策部
		医薬品の使用に係る安全な管理のための責任者の配置状況	薬剤部
		従業者に対する医薬品の安全使用のための研修の実施状況	薬剤部
		医薬品の安全使用のための業務に関する手順書の作成及び当該手順書に基づく業務の実施状況	薬剤部
		医薬品の安全使用のために必要となる情報の収集その他の医薬品の安全使用を目的とした改善のための方策の実施状況	薬剤部
		医療機器の安全使用のための責任者の配置状況	医療機器管理部
		従業者に対する医療機器の安全使用のための研修の実施状況	医療機器管理部
		医療機器の保守点検に関する計画の策定及び保守点検の実施状況	医療機器管理部
		医療機器の安全使用のために必要となる情報の収集その他の医療機器の安全使用を目的とした改善のための方策の実施状況	医療機器管理部 医療安全管理部

(注) 「診療に関する諸記録」欄には、個々の記録について記入する必要はなく、全体としての管理方法の概略を記入すること。

(様式13)

病院の管理及び運営に関する諸記録の閲覧方法及び
紹介患者に対する医療提供の実績

○ 病院の管理及び運営に関する諸記録の閲覧方法

閲覧責任者氏名	病院管理課長 西垣 義郎
閲覧担当者氏名	病院管理課副課長 田川 裕隆
閲覧の求めに応じる場所	病院管理課 総務調整担当

○ 病院の管理及び運営に関する諸記録の閲覧の実績

前年度の総閲覧件数	延	0件
閲覧者別	医師	延 件
	歯科医師	延 件
	国	延 件
	地方公共団体	延 件

○ 紹介患者に対する医療提供の実績

紹介率	58.6 %	算定期間	平成24年4月1日 ~ 平成25年3月31日
算出根拠	A: 紹介患者の数	13,822人	
	B: 他の病院又は診療所に紹介した患者の数	8,909人	
	C: 救急用自動車によって搬入された患者の数	1,815人	
	D: 初診の患者の数	32,960人	

(注) 1 「紹介率」欄は、A、B、Cの和をBとDの和で除した数に100を乗じて小数点以下第1位まで記入すること。

2 A、B、C、Dは、それぞれの延数を記入すること。

規則第1条の11第1項各号及び第9条の23第1項各号に掲げる体制の確保の状況

① 医療に係る安全管理のための指針の整備状況	① 有 ・ 無
<ul style="list-style-type: none"> ・ 指針の主な内容： <ul style="list-style-type: none"> ・ 安全管理のための基本的な考え方 ・ 安全管理のための組織 ・ 医療事故発生時の対応 ・ 医療事故及びインシデント報告制度 ・ 職員の教育・研修及び啓発 ・ 患者相談窓口 	
② 医療に係る安全管理のための委員会の開催状況	年 12 回
<ul style="list-style-type: none"> ・ 活動の主な内容： <ul style="list-style-type: none"> ・ 安全管理のための指針の策定及び変更 ・ 院内で発生した医療事故、インシデントの調査分析、再発防止策の立案・実施 ・ 安全管理のための教育・研修及び啓発の検討 	
③ 医療に係る安全管理のための職員研修の実施状況	年 7 回
<ul style="list-style-type: none"> ・ 研修の主な内容： <ul style="list-style-type: none"> ・ 抗がん剤曝露の現状と安全対策 ・ 院内での災害発生時の対応 ・ 糖尿病関連のインシデント・アクシデント対策 ・ 医療安全とコミュニケーション ・ 医療をめぐる法的諸問題 	
④ 医療機関内における事故報告等の医療に係る安全の確保を目的とした改善のための方策の状況	
<ul style="list-style-type: none"> ・ 医療機関内における事故報告等の整備 (有) ・ 無) ・ その他の改善のための方策の主な内容： <ul style="list-style-type: none"> ・ 医療安全のための院内調査ラウンドの実施 ・ 職員間での情報共有と注意喚起のための、インシデント事例等を掲載した「医療安全管理部レター」の発行 ・ インシデント事例を記載した「医療管理部ファイル」の作成、供覧 ・ 人工呼吸器のリスク管理のための、チームによる院内ラウンドの実施 	
⑤ 専任の医療に係る安全管理を行う者の配置状況	⑤ 有 (1 名) ・ 無
⑥ 専任の院内感染対策を行う者の配置状況	⑥ 有 (2 名) ・ 無
⑦ 医療に係る安全管理を行う部門の設置状況	⑦ 有 ・ 無
<ul style="list-style-type: none"> ・ 所属職員： 専任(1)名 兼任(7)名 ・ 活動の主な内容： <ul style="list-style-type: none"> ・ 医療事故、インシデントに係る報告のとりまとめ ・ 医療事故、インシデントの発生原因の調査、分析 ・ 安全対策の実施状況、医療事故発生時の対応状況に関する調査、確認、指導 ・ 安全管理のための教育、研修の実施 ・ 安全対策の推進 	
⑧ 当該病院内に患者からの安全管理に係る相談に適切に応じられる体制の確保状況	⑧ 有 ・ 無

院内感染対策のための体制の確保に係る措置

① 院内感染対策のための指針の策定状況	① <input checked="" type="radio"/> 有 ・ 無
<ul style="list-style-type: none"> ・ 指針の主な内容： 院内感染対策に関する基本的考え方 <ul style="list-style-type: none"> ・ 院内感染対策のための委員会その他の当該病院等の組織に関する基本的事項 ・ 院内感染対策のための従事者に対する研修に関する基本方針 ・ 感染症の発生状況の報告に関する基本方針 ・ 院内感染発生時の対応に関する基本方針 ・ 患者等の対する当該指針の閲覧に関する基本方針 	
② 院内感染のための委員会の開催状況	年 12 回
<ul style="list-style-type: none"> ・ 活動の主な内容： 感染症発生状況（対応状況も含む） <ul style="list-style-type: none"> ・ MRSA等耐性菌の発生状況報告（対応状況も含む） ・ 抗MRSA薬等の使用状況報告（適正使用に関する始動状況も含む） ・ その他院内感染対策の推進に関する方策の検討 	
③ 従業者に対する院内感染対策のための研修の実施状況	年 12 回
<ul style="list-style-type: none"> ・ 研修の主な内容： <ul style="list-style-type: none"> ・ 結核 ・ ノロウイルス ・ インフルエンザ関連 ・ 抗菌薬の適正使用 ・ MRSA感染対策 	
④ 感染症の発生状況の報告その他の院内感染対策の推進を目的とした改善のための方策の状況	
<ul style="list-style-type: none"> ・ 病院における発生状況の報告等の整備 <input checked="" type="radio"/> 有 ・ 無 ・ その他の改善のための方策の主な内容： 医師部門に「感染対策推進医師」を、看護部門に「リンクナース」をそれぞれ配置している。感染症情報やその対応について、院内主要会議でのアナウンスを行い電子メール配信や電子カルテシステムの掲示板の活用等の手段により随時周知徹底を図っている。 	

医薬品に係る安全管理のための体制の確保に係る措置

① 医薬品の使用に係る安全な管理のための責任者の配置状況	○有 ・ 無
② 従業者に対する医薬品の安全使用のための研修の実施状況	年 8 回
<ul style="list-style-type: none">・ 研修の主な内容：<ul style="list-style-type: none">・ 新任看護職員研修「医薬品適正使用」・ 医薬品安全管理セミナー「抗がん剤による職業被曝を防ぐ」・ 医薬分業推進研修会「調剤内規について」・ 褥瘡ケアエキスパート講座・ 経口糖尿病薬の使い分け	
③ 医薬品の安全使用のための業務に関する手順書の作成及び当該手順書に基づく業務の実施状況	
<ul style="list-style-type: none">・ 手順書の作成 (○有 ・ 無)・ 業務の主な内容： 業務手順書に基づく年2回の業務チェックと手順書の見直し	
④ 医薬品の安全使用のために必要となる情報の収集その他の医薬品の安全使用を目的とした改善のための方策の実施状況	
<ul style="list-style-type: none">・ 医薬品に係る情報の収集の整備 (○有 ・ 無)・ その他の改善のための方策の主な内容： 医薬品安全管理委員会（月2回・第2・4火曜日）：アクシデント事例、ヒヤリハット事例の共有化と過誤防止策の決定 <今年度の改善事項> 内服薬払出し時のバーコード調剤導入（試行）	

医療機器に係る安全管理のための体制の確保に係る措置

① 医療機器の安全使用のための責任者の配置状況	○有 ・ 無
② 従業者に対する医療機器の安全使用のための研修の実施状況	年 9 回
・ 研修の主な内容： ・ 新規導入機器（人工呼吸器、患者監視装置など）に対する安全使用研修会 ・ 人工心肺装置、補助人工心臓装置と治療 ・ 看護の統合と実践「ME機器の理論の操作」	
③ 医療機器の保守点検に関する計画の策定及び保守点検の実施状況	
・ 計画の作成 ○有 ・ 無 ・ 保守点検の主な内容： ・ 特定保守管理機器の定期点検(人工心肺、人工呼吸器、血液浄化装置など) ・ 医療機器(約4600台)の定期点検計画策定と実施	
④ 医療機器の安全使用のために必要となる情報の収集その他の医療機器の安全使用を目的とした改善のための方策の実施状況	
・ 医療機器に係る情報の収集の整備 ○有 ・ 無 ・ その他の改善のための方策の主な内容： ・ 医療安全管理部と機器・器具に関する情報の連携と病棟などへの通達・指導 ・ 医療機器管理部職員、MEセンター職員への情報伝達(Meeting) ・ 医療機器業者との情報伝達方法の経路確立 ・ PMDA情報のMEセンター集約・一元化	